

結果の概要

概況

平成29年5月1日現在で実施した学校基本調査（大学，短期大学，高等専門学校を除く。）の結果の概要は，次のとおりである。

（１）学校数

幼稚園は256園で，前年度より10園減少。
 幼保連携型認定こども園は88園で，前年度より27園増加。
 小学校は488校で，前年度より4校減少。 中学校は267校で，前年度より3校減少。
 義務教育学校は2校で，今年度新設。 高等学校は136校で，前年度と同じ。
 中等教育学校は1校で，前年度と同じ。 特別支援学校は18校で，前年度と同じ。
 専修学校は78校で，前年度より2校減少。 各種学校は26校で，前年度より1校減少。

（２）在学者数

幼稚園園児数は27,010人で，前年度より1,775人減少。
 幼保連携型認定こども園園児数は11,945人で，前年度より3,299人増加。
 小学校児童数は151,464人で，前年度より616人減少。
 中学校生徒数は76,520人で，前年度より2,016人減少。
 義務教育学校児童生徒数は1,211人。
 高等学校生徒数は76,197人で，前年度より578人減少。
 中等教育学校生徒数は469人で，前年度より120人増加。
 特別支援学校在学者数は2,713人で，前年度より40人増加。
 専修学校生徒数は12,552人で，前年度より103人増加。
 各種学校生徒数は2,350人で，前年度より259人減少。

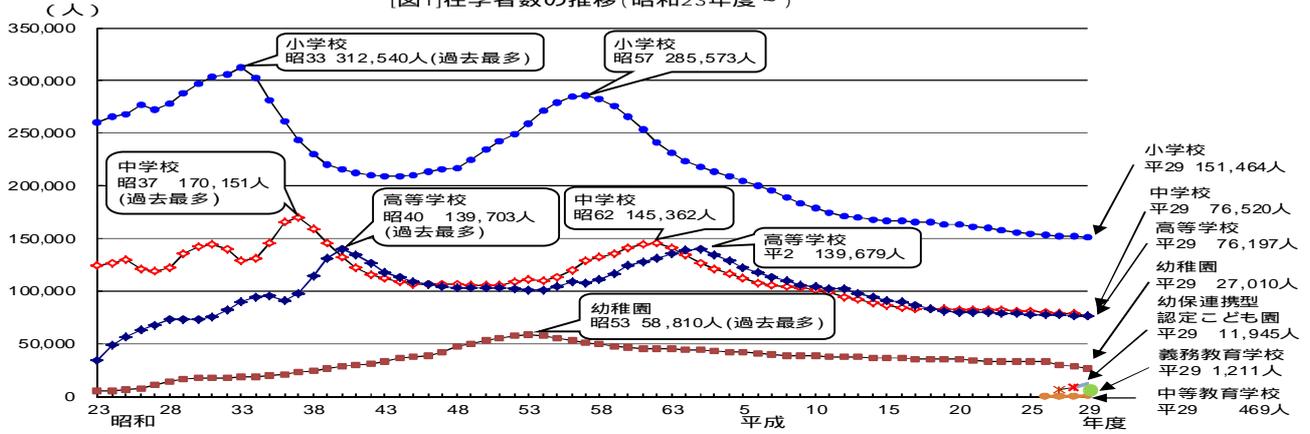
（３）教員数（本務者）

幼稚園教員数（本務者）は1,986人で，前年度より52人減少。
 幼保連携型認定こども園教育・保育職員数（本務者）は1,917人で，前年度より582人増加。
 小学校児童教員数（本務者）は9,604人で，前年度より70人増加。
 中学校生徒教員数（本務者）は5,524人で，前年度より53人減少。
 義務教育学校教員数（本務者）は85人。
 高等学校生徒教員数（本務者）は5,455人で，前年度より22人減少。
 中等教育学校教員数（本務者）は29人で，前年度より12人増加。
 特別支援学校教員数（本務者）は1,555人で，前年度より18人増加。
 専修学校教員数（本務者）は828人で，前年度より6人増加。
 各種学校教員数（本務者）は175人で，前年度より26人増加。

区 分	学 校 数		在 学 者 数		教 員 数 (本 務 者)	
	校(園)	対前年増減数	人	対前年増減数		対前年増減数
幼 稚 園	256	10	27,010	1,775	1,986	52
幼保連携型認定こども園	88	27	11,945	3,299	1,917	582
小 学 校	488	4	151,464	616	9,604	70
中 学 校	267	3	76,520	2,016	5,524	53
義 務 教 育 学 校	2	2	1,211	1,211	85	85
高 等 学 校	136	-	76,197	578	5,455	22
中 等 教 育 学 校	1	-	469	120	29	12
特 別 支 援 学 校	18	-	2,713	40	1,555	18
専 修 学 校	78	2	12,552	103	828	6
各 種 学 校	26	1	2,350	259	175	26

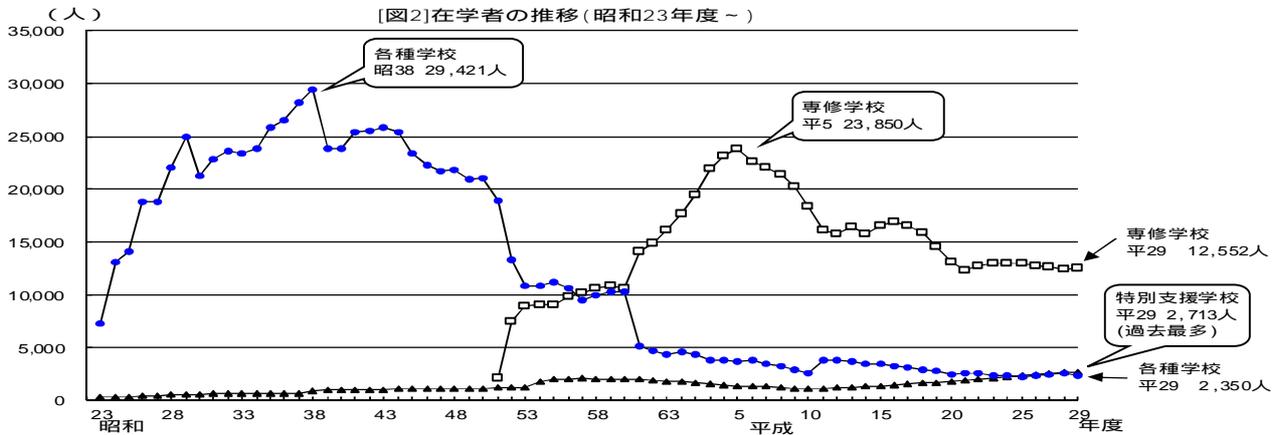
幼稚園園児数は、ピーク時（昭和53年度 58,810人）の45.9%。
 小学校児童数は、第二次ピーク時（昭和57年度 285,573人）の53.0%。
 中学校生徒数は、第二次ピーク時（昭和62年度 145,362人）の52.6%。
 高等学校生徒数は、第二次ピーク時（平成2年度 139,679人）の54.6%。

【図1】在学者数の推移（昭和23年度～）



特別支援学校在学者数は、前回ピーク時（昭和57年度 2,121人）よりも592人多い。
 専修学校生徒数は、ピーク時（平成5年度 23,850人）の52.6%。
 各種学校生徒数は、ピーク時（昭和38年度 29,421人）の8.0%。

【図2】在学者の推移（昭和23年度～）



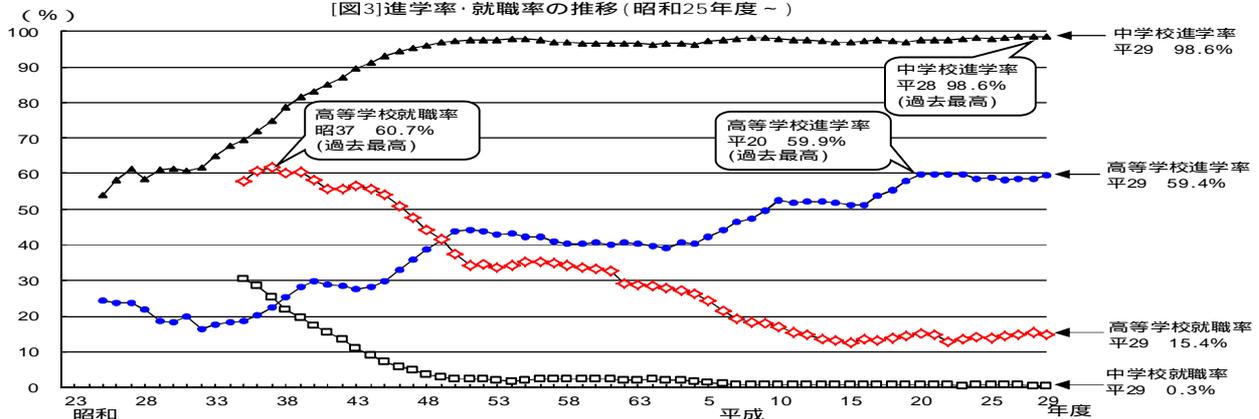
< 中学校卒業後の状況 >

進学率は前年度（過去最高）とほぼ同数の98.6%，就職率は過去最低の0.3%である。

< 高等学校卒業後の状況 >

進学率は前年度より0.9ポイント上昇し，59.4%，就職率は前年度より0.6ポイント低下し，14.8%である。

【図3】進学率・就職率の推移（昭和25年度～）



注) 昭和25年度以前の進学率及び昭和35年度以前の就職率は不詳。

〔幼稚園・幼保連携型認定こども園〕 以下、図中は「こども園」とする。

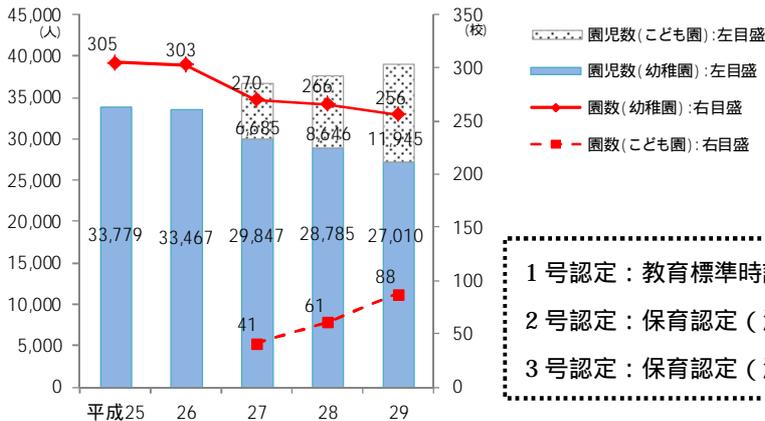
(1) 学校数・園児数

幼保連携型認定こども園への移行により、幼稚園の園数・園児数は減少している。[図4]

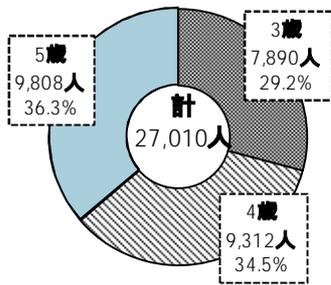
幼稚園では5歳児が最も多い。[図5] 幼保連携型認定こども園では3~5歳児が73.6%を占めている。[図6]

認定号別では、保育が必要な2号認定及び3号認定が65.8%を占めている。[図7]

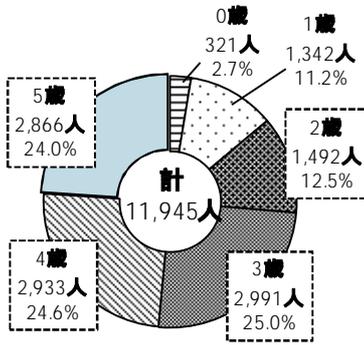
[図4]幼稚園及びこども園の園数・園児数



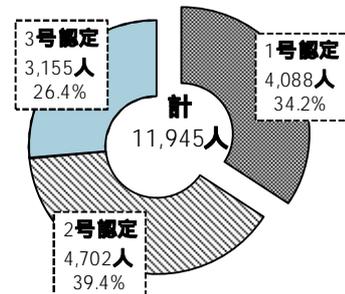
1号認定：教育標準時認定（満3歳以上の子どもで、2号認定を除く。）
 2号認定：保育認定（満3歳以上の子どもで、保育を必要とする。）
 3号認定：保育認定（満3歳未満の子どもで、保育を必要とする。）



[図5]幼稚園 園児数内訳



[図6]こども園 園児数内訳



[図7]こども園 認定号内訳

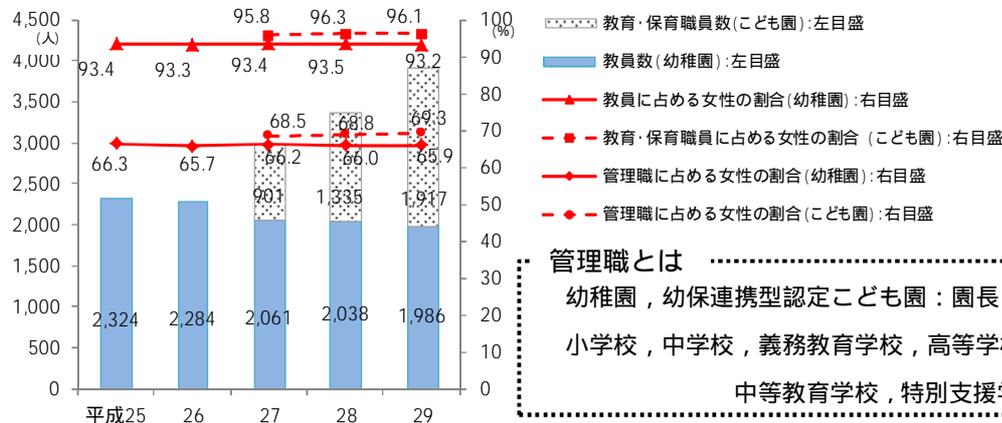
(2) 教員数(本務者)・教育・保育職員数(本務者)

幼保連携型認定こども園の教育・保育職員数(本務者)が3年目で幼稚園の教員数(本務者)に並んでいる。[図8]

教員,教育・保育職員に占める女性の割合は90%台,管理職に占める女性の割合は60%台後半で,幼稚園,幼保連携型認定こども園ともに推移している。[図8]

[図8]幼稚園及びこども園の教員,教育・保育職員数・

教員,教育・保育職員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合

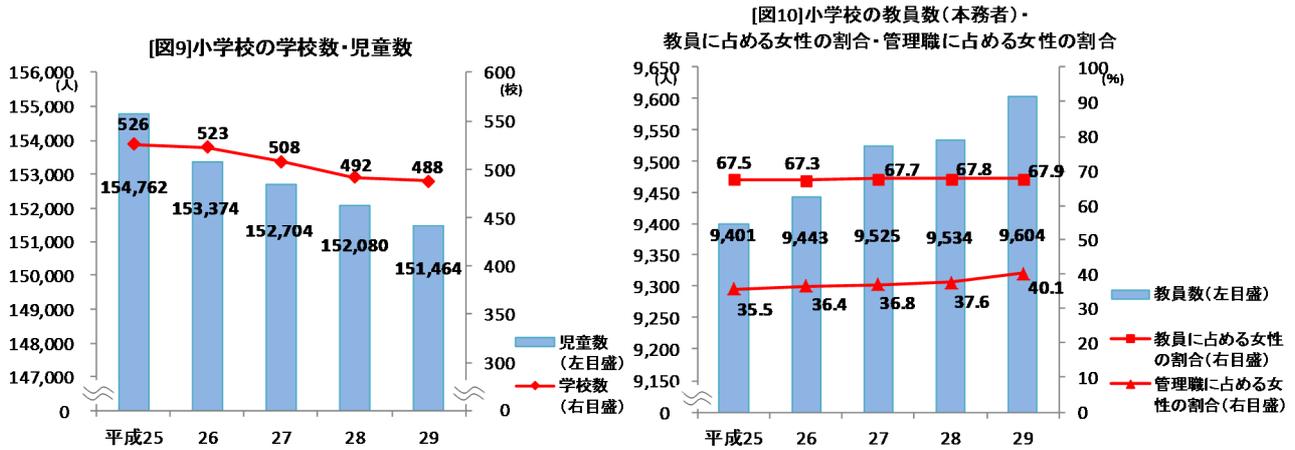


管理職とは
 幼稚園,幼保連携型認定こども園:園長,副園長,教頭
 小学校,中学校,義務教育学校,高等学校,
 中等教育学校,特別支援学校:校長,副校長,教頭

〔小学校〕

小学校は学校数・児童数ともに減少傾向が続いている。[図 9]

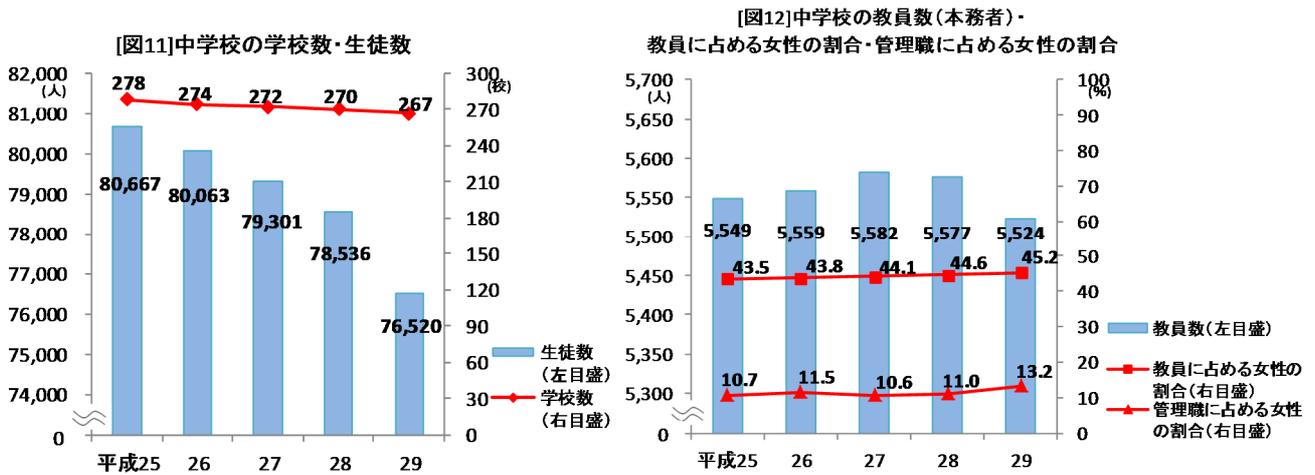
教員数（本務者）は増加傾向が続いている。また，教員に占める女性の割合は 60% 台後半で推移している。管理職に占める女性の割合は 30% 台後半で推移してきたが，今年度 40% を超えた。[図 10]



〔中学校〕

中学校は学校数・生徒数ともに減少傾向が続いている。[図 11]

教員数（本務者）は 2 年連続で減少している。教員に占める女性の割合は 40% 台前半で推移してきたが，今年度 45% を超えた。管理職に占める女性の割合は 10% 台前半で推移している。[図 12]



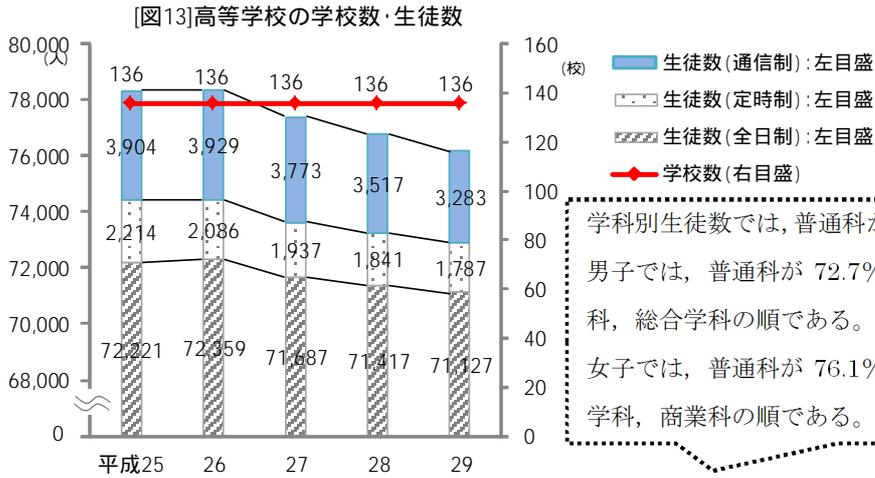
〔義務教育学校〕

義務教育学校は今年度 2 校新設された。児童生徒数は 1,211 人，教員数（本務者）は 85 人である。

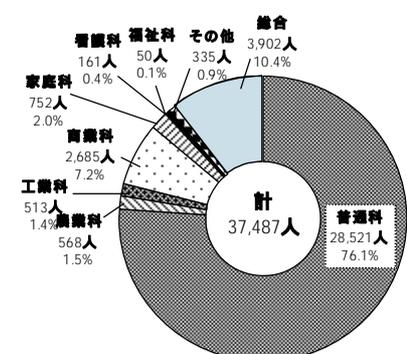
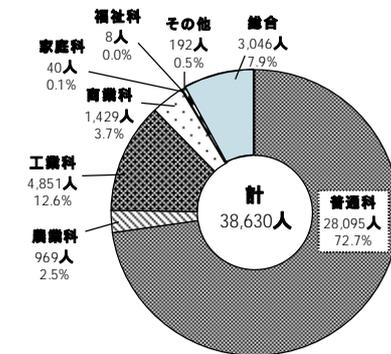
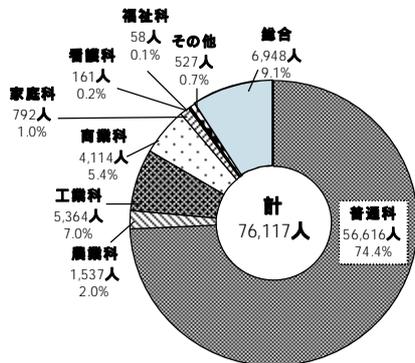
〔高等学校〕

(1) 学校数・生徒数

高等学校は通信制が1校減少，定時制と通信制の併置校が1校増加したため，総数に増減はなかった。[図13]
 生徒数は，3年連続で減少している。[図13]

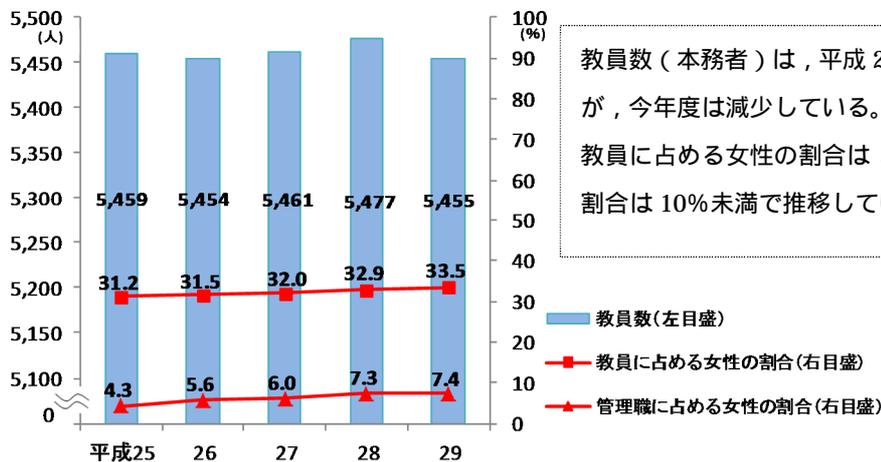


学科別生徒数では，普通科が74.4%を占めている。[図14]
 男子では，普通科が72.7%を占め最も多く，次いで工業科，総合学科の順である。[図15]
 女子では，普通科が76.1%を占め最も多く，次いで総合学科，商業科の順である。[図16]



(2) 教員数(本務者)

[図17]高等学校の教員数(本務者)・
 教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



教員数(本務者)は，平成27年度から2年連続で増加していたが，今年度は減少している。[図17]
 教員に占める女性の割合は30%台前半，管理職に占める女性の割合は10%未満で推移している。[図17]

〔中等教育学校〕

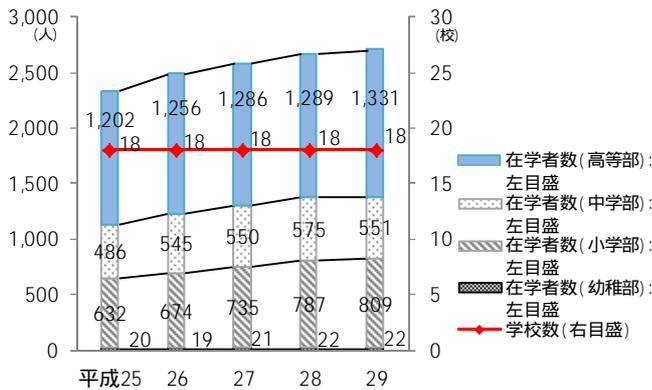
新設から4年目で後期課程が開始された。前・後期課程合わせて生徒数は469人、教員数(本務者)は29人である。

〔特別支援学校〕

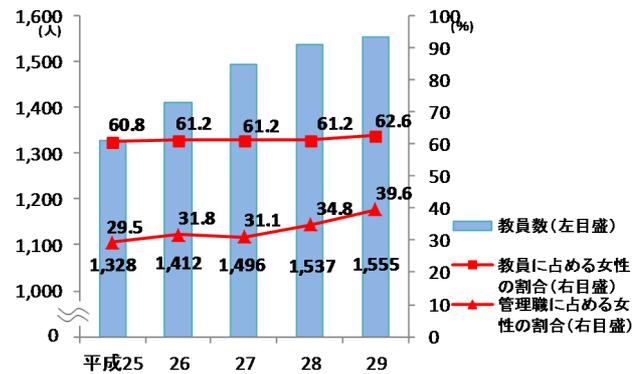
今年度の在学者数は2,713人で過去最多を更新した。[図18]

教員数は増加傾向が続いている。また、教員に占める女性の割合は60%台で推移し、管理職に占める女性の割合は30%台前半で推移してきたが、今年度は前年度より4.8ポイント上昇し、39.6%となった。[図19]

〔図18〕特別支援学校の学校数・在学者数



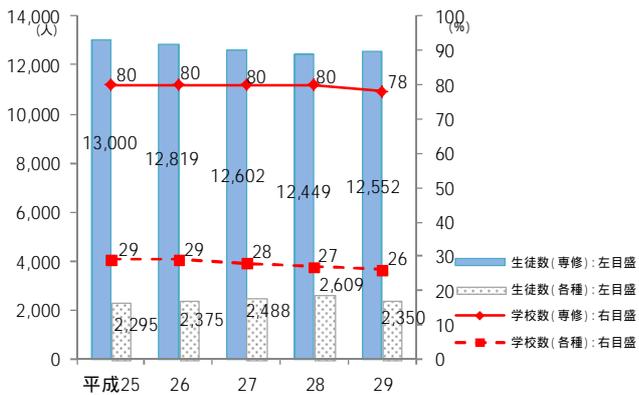
〔図19〕特別支援学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



〔専修学校・各種学校〕

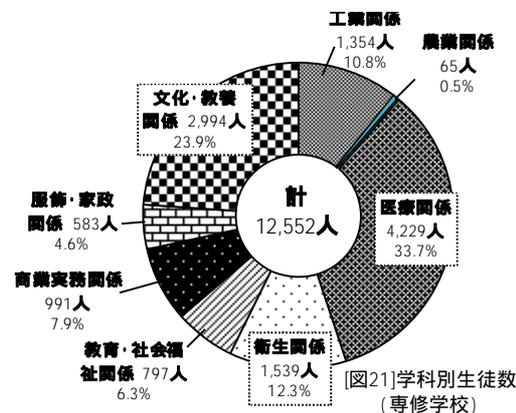
専修学校の学校数は減少したが、生徒数は4年ぶりに増加した。各種学校の学校数は3年連続で減少し、生徒数は4年ぶりに減少した。[図20]

〔図20〕専修学校及び各種学校の学校数・生徒数

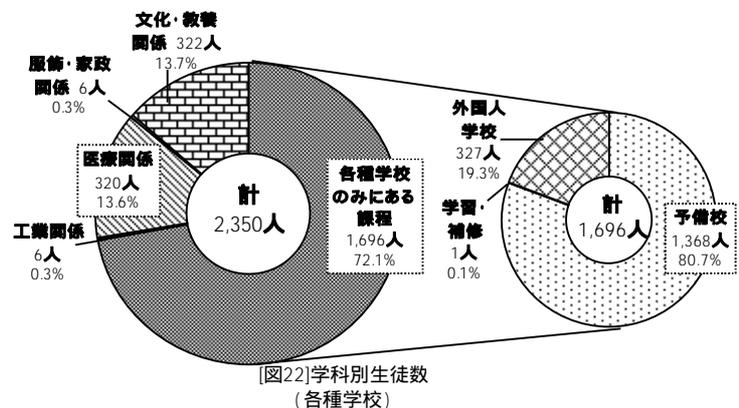


専修学校の学科別生徒数は、医療関係が33.7%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、衛生関係の順である。[図21]

各種学校の学科別生徒数は、各種学校のみにある課程が72.1%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、医療関係の順である。また、各種学校のみにある課程では、予備校の生徒数が80.7%を占めている。[図22]



〔図21〕学科別生徒数(専修学校)

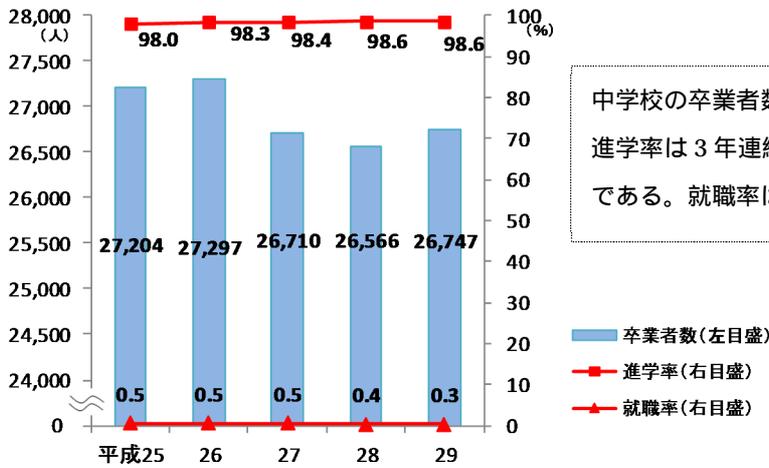


〔図22〕学科別生徒数(各種学校)

〔中学校卒業後の状況〕

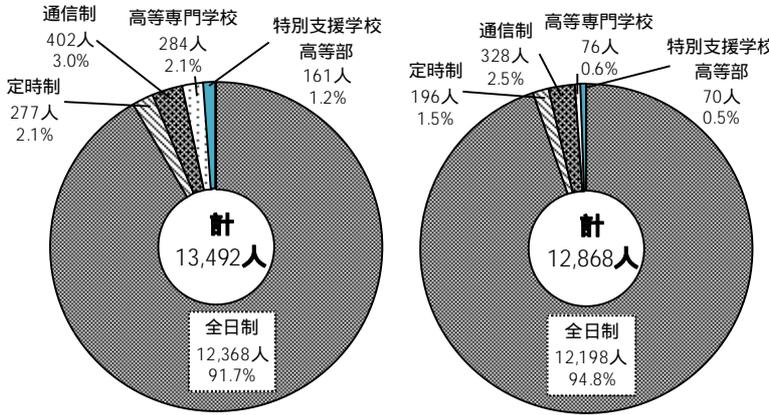
(1) 卒業後の状況

〔図23〕中学校卒業後数・進学率・就職率



中学校の卒業後数は3年ぶりに増加した。〔図 23〕
 進学率は3年連続で上昇していたが、今年度は前年度とほぼ同数である。就職率は2年連続で低下している。〔図 23〕

(2) 進学者



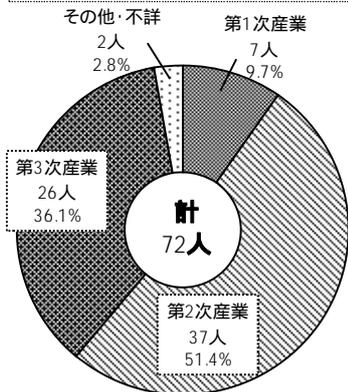
女子の進学者に占める全日制進学者の割合は94.8%で、男子を3.1ポイント上回っている。
 また、進学者に占める全日制以外の進学者の割合は、すべてで男子が上回っている。
 〔図 24・25〕

〔図24〕進学者内訳 (男)

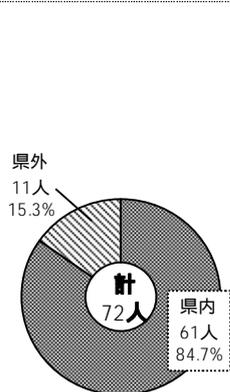
〔図25〕進学者内訳 (女)

(3) 就職者

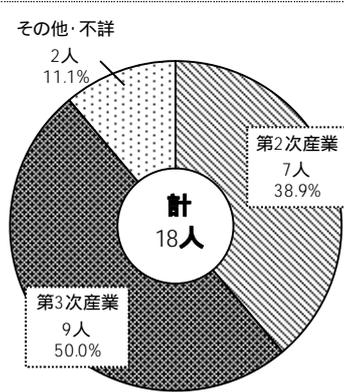
男子では第2次産業への就職が51.4%を占めている。また、84.7%が県内で就職している。〔図 26・27〕
 女子では第3次産業が50.0%を占めている。また、94.4%が県内で就職している。〔図 28・29〕



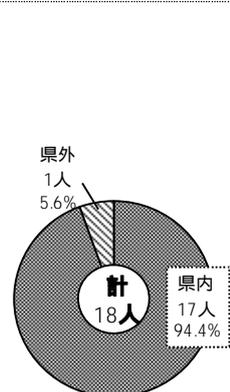
〔図26〕就職者内訳 (男)



〔図27〕地域別 (男)



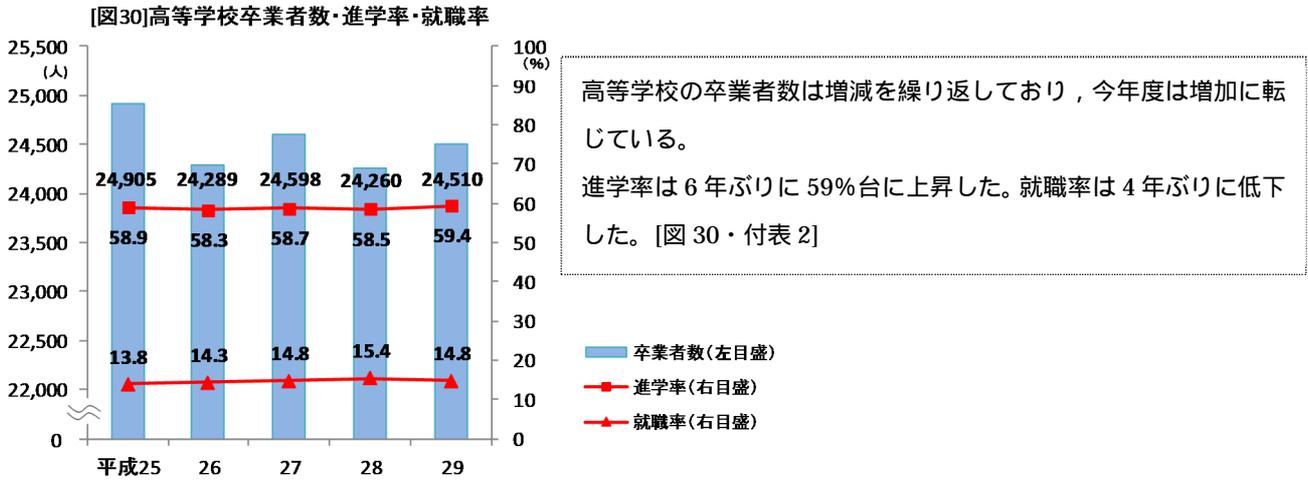
〔図28〕進学者内訳 (女)



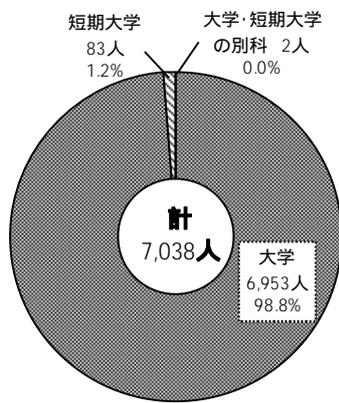
〔図29〕地域別 (女)

〔高等学校卒業後の状況〕

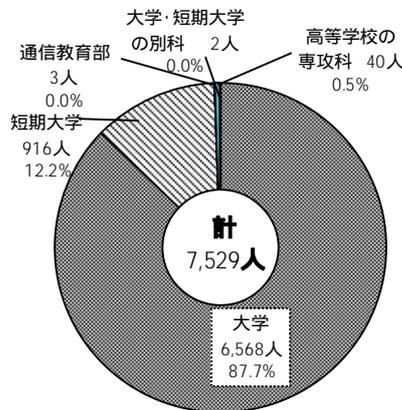
(1) 卒業後の状況



(2) 進学者



[図31]進学者内訳(男)

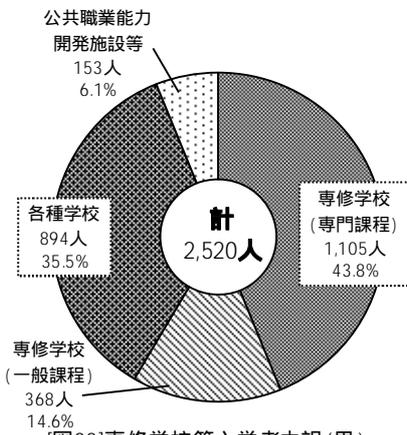


[図32]進学者内訳(女)

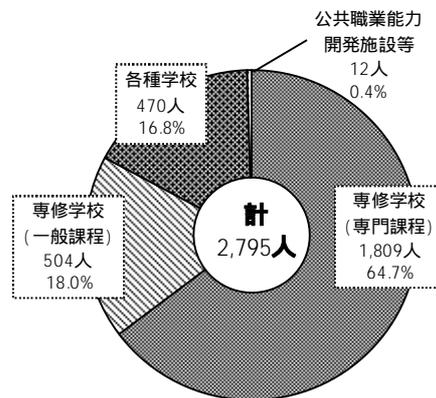
男子では大学進学者が98.8%を占めている。[図31]

女子では大学進学者が87.7%を占め、次いで短期大学進学者が12.2%を占めている。[図32]

(3) 専修学校等入学者



[図33]専修学校等入学者内訳(男)



[図34]専修学校等入学者内訳(女)

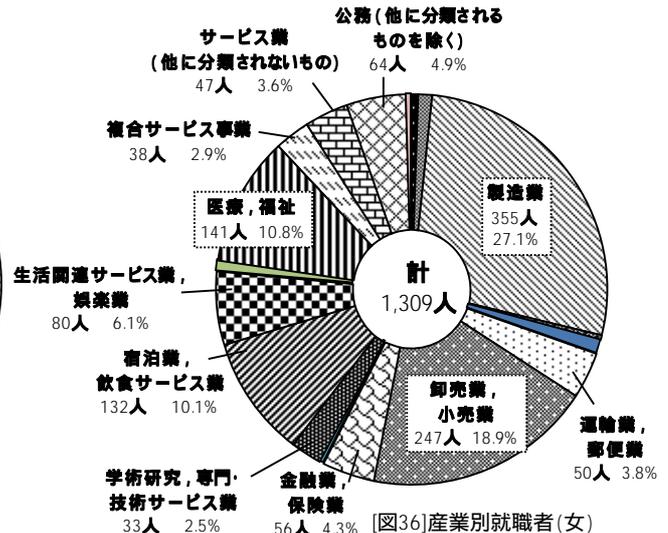
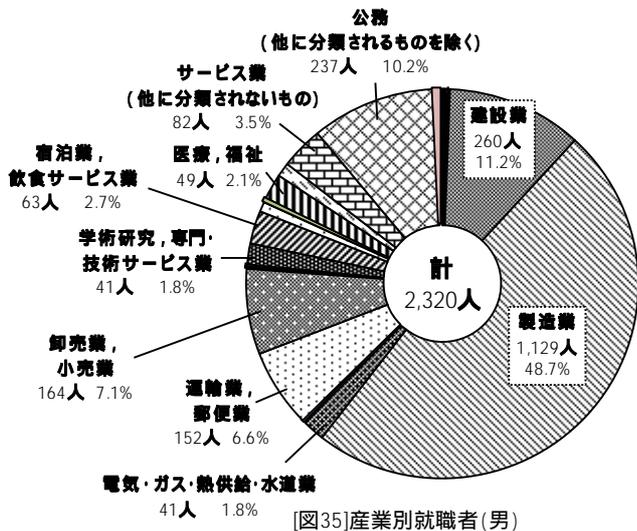
男女ともに専修学校(専門課程)が最も多くを占めているが、男子では次いで各種学校が35.5%を占め、女子では専修学校(一般課程)が18.0%を占めている。[図33・34]

(4) 就職者

< 産業別 > (以下, 1%以上を占めるもののみ表示。計は全数表示。)

男子では「製造業」が 48.7%を占め最も多く、次いで「建設業」、「公務(他に分類されるものを除く)」の順である。[図 35]

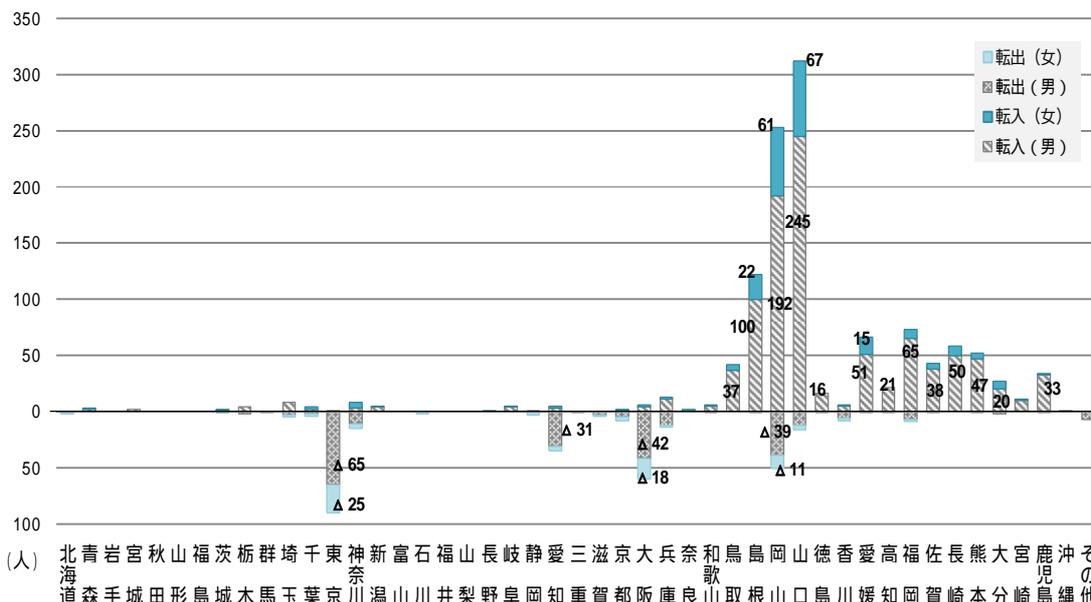
女子では「製造業」が 27.1%を占め最も多く、次いで「卸売業, 小売業」、「医療, 福祉」の順である。[図 36]



< 地域別 >

全体として転入超過で、特に男子の転入者が多い。転入元として最も多いのは山口県で、次いで岡山県, 島根県である。転出先として最も多いのは東京都で、次いで大阪府, 岡山県である。[図 37]

[図37]就職のため広島県に転入した者・広島県から転出した者



転入	計	1,215
	男	987
転出	計	347
	男	263
入出	計	868
	男	724
	女	144

〔中等教育学校前期課程修了後の状況〕

118人が前期課程を修了し、うち115人が中等教育学校後期課程に、2人が高等学校全日制に、1人が高等学校通信制に進学した。進学率は100%である。

〔特別支援学校卒業後の状況〕

< 中学部 >

208人が中学部を卒業し、うち204人が特別支援学校高等部に、1人が高等学校定時制に、1人が高等学校通信制に進学、2人がその他となっている。進学率は99.0%である。

< 高等部 >

(1) 卒業後の状況

398人が高等部を卒業し、うち3人が大学等進学、3人が専修学校等入学、115人が就職、277人が左記以外・不詳・死亡の者となっている。左記以外・不詳・死亡のものの内訳は、児童福祉施設8人、障害者支援施設等254人、医療機関4人などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は129人である。

進学率は0.8%で、就職率全体は28.9%、男子31.9%、女子23.2%である。

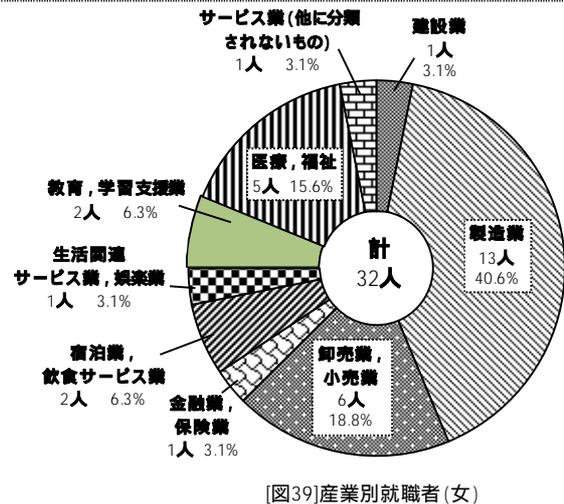
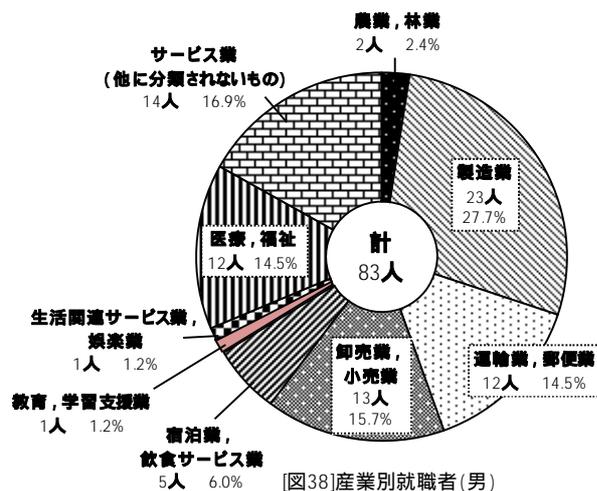
(2) 進学者

進学者は3人で、うち2人が大学(学部)に、1人が特別支援学校高等部専攻科に進学している。

(3) 就職者

男子では、「製造業」が27.7%を占め、次いで「サービス業(他に分類されないもの)」、「卸売業、小売業」の順である。[図40]

女子では、「製造業」が40.6%を占め、次いで「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順である。[図41]



〔不就学学齢児童生徒調査〕

就学免除者数は13人で、就学猶予者数は0人である。

1年以上居所不明者数は1人である。

学齢児童生徒死亡者数(前年度間)は10人である。

学校調査

1 幼稚園

[表1]園数・学級数・園児数・教員数(本務者)の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園当たりの園児数		1学級当たりの園児数		教員数(本務者)		教員1人当たりの園児数	
	園数	対前年増減数	学級数	対前年増減数	園児数	対前年増減数	1園当たりの園児数	対前年増減数	1学級当たりの園児数	対前年増減数	教員数(本務者)	対前年増減数	教員1人当たりの園児数	対前年増減数
	園		学級		人									
H25	305	12	1,508	5	33,779	43	110.8	4.1	224	0.0	2,324	34	14.5	0.3
H26	303	2	1,481	27	33,467	312	110.5	0.3	226	0.2	2,284	40	14.7	0.2
H27	270	33	1,298	183	29,847	3,620	110.5	0.1	23	0.4	2,061	223	14.5	0.2
H28	266	4	1,269	29	28,785	1,062	108.2	2.3	227	0.3	2,038	23	14.1	0.4
H29	256	10	1,204	65	27,010	1,775	105.5	2.7	22.4	0.3	1,986	52	13.6	0.5
国立	2	-	6	-	153	9	76.5	4.5	25.5	1.5	11	1	13.9	0.4
公立	85	3	142	9	2,752	286	32.4	2.1	19.4	0.7	269	3	10.2	1.2
私立	169	7	1,056	56	24,105	1,480	142.6	2.7	22.8	0.2	1,706	54	14.1	0.4
男	13,629	909	135	3
女	13,381	866	1,851	55

(1) 園数

- ア 園数は256園で、前年度より10園減少している。 [表1]
 イ 設置者別では、国立2園、公立85園、私立169園で、前年度より公立は3園、私立は7園減少している。 [表1]

(2) 学級数

- ア 学級数は1,204学級で、前年度より65学級減少している。 [表1]
 イ 設置者別では、国立6学級、公立142学級、私立1,056学級で、前年度より公立は9学級、私立は56学級減少している。 [表1]

(3) 園児数

- ア 園児数は27,010人で、前年度より1,775人減少している。 [表1]
 イ 設置者別では、国立153人(男子77人、女子76人)、公立2,752人(男子1,384人、女子1,368人)、私立24,105人(男子12,168人、女子11,937人)で、前年度より国立は9人、公立は286人、私立は1,480人減少している。 [表1、統計表2]
 ウ 男女別では、男子13,629人、女子13,381人で、前年度より男子は909人、女子は866人減少している。 [表1]
 エ 年齢別では、3歳児7,890人(男子4,035人、女子3,855人)、4歳児9,312人(男子4,642人、女子4,670人)、5歳児9,808人(男子4,952人、女子4,856人)で、前年度より3歳児は492人、4歳児は675人、5歳児は608人減少している。 [統計表2]
 オ 1園当たりの園児数は105.5人で、前年度より2.7人減少している。 [表1]
 カ 1学級当たりの園児数は22.4人で、前年度より0.3人減少している。 [表1]

(4) 教員数(本務者)

- ア 教員数(本務者)は1,986人で、前年度より52人減少している。 [表1]
 イ 設置者別では、国立11人(男性2人、女性9人)、公立269人(男性13人、女性256人)、私立1,706人(男性120人、女性1586人)で、前年度より国立は1人減少し、公立は3人増加し、私立は54人減少している。 [表1・統計表4]
 ウ 男女別では、男性135人、女性1,851人で、前年度より男性は3人増加、女性は55人減少している。 [表1]
 エ 教員(本務者)1人当たりの在園者数は13.6人で、前年度より0.5人減少している。 [表1]
 オ 教員(本務者)に占める女性の割合は93.2%で、前年度より0.3ポイント低下し、管理職に占める女性の割合は65.9%で、前年度より0.1ポイント低下している。 [統計表4]

(5) 入園者数

- ア 入園者数は 8,573 人で、前年度より 592 人減少している。 [表 2]
 イ 設置者別では、国立 58 人(男子 31 人, 女子 27 人), 公立 1,294 人(男子 631 人, 女子 663 人), 私立 7,221 人(男子 3,714 人, 女子 3,507 人)で、前年度より国立は 3 人, 公立は 169 人, 私立は 420 人減少している。 [表 2・統計表 5]
 ウ 男女別では、男子 4,376 人, 女子 4,197 人で、前年度より男子は 275 人, 女子は 317 人減少している。 [表 2]
 エ 年齢別では、3 歳児 6,612 人(男子 3,400 人, 女子 3,212 人), 4 歳児 1,606 人(男子 804 人, 女子 802 人), 5 歳児 355 人(男子 172 人, 女子 183 人)で、前年度より 3 歳児は 390 人, 4 歳児は 176 人, 5 歳児は 26 人減少している。 [表 2・統計表 5]

[表2]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数
H25	11,535	223	8,626	30	2,403	134	506	119
H26	11,490	45	8,592	34	2,402	1	496	10
H27	10,028	1,462	7,462	1,130	2,073	329	493	3
H28	9,165	863	7,002	460	1,782	291	381	112
H29	8,573	592	6,612	390	1,606	176	355	26
国立	58	3	37	3	21	-	-	-
公立	1,294	169	213	3	926	138	155	34
私立	7,221	420	6,362	390	659	38	200	8
男	4,376	275	3,400	140	804	101	172	34
女	4,197	317	3,212	250	802	75	183	8

(6) 認可定員及び定員充足率

- ア 認可定員は 42,017 人で、前年度より 1,395 人減少している。 [表 3]
 イ 設置者別では、国立 160 人, 公立 8,207 人, 私立 33,650 人で、前年度より公立は 225 人, 私立は 1,170 人減少している。 [表 3]
 ウ 定員充足率は 64.3% で、前年度より 2.0 ポイント低下している。 [表 3]
 エ 設置者別では、国立 95.6%, 公立 33.5%, 私立 71.6% で、前年度より国立は 5.7 ポイント, 公立は 2.5 ポイント, 私立は 1.9 ポイント低下している。 [表 3]

[表3]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%
H25	50,062	33,779	67.5	250	199	79.6	10,555	3,807	36.1	39,257	29,773	75.8
H26	49,806	33,467	67.2	250	198	79.2	10,350	3,747	36.2	39,206	29,522	75.3
H27	44,502	29,847	67.1	210	182	86.7	9,175	3,323	36.2	35,117	26,342	75.0
H28	43,412	28,785	66.3	160	162	101.3	8,432	3,038	36.0	34,820	25,585	73.5
H29	42,017	27,010	64.3	160	153	95.6	8,207	2,752	33.5	33,650	24,105	71.6

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼稚園修了者数の割合(就園率)

- ア 修了者数は 10,399 人で、前年度より 297 人減少している。 [表 4]
 設置者別では、国立 63 人, 公立 1,521 人, 私立 8,815 人で、国立は 14 人, 公立は 180 人, 私立は 103 人減少している。 [表 4]
 イ 就園率は 40.6% で、前年度より 1.3 ポイント低下している。 [表 4]
 設置者別では、国立 0.2%, 公立 5.9%, 私立 34.4% で、前年度より国立は 0.1 ポイント, 公立は 0.8 ポイント, 私立は 0.6 ポイント低下している。 [表 4]

[表4]修了者数・小学校第1学年に占める幼稚園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校第1学年	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率
	人	人	%	人	%	人	%	人	%
H25	25,363	12,005	47.3	81	0.3	2,092	8.2	9,832	38.8
H26	25,631	12,051	47.0	73	0.3	1,867	7.3	10,111	39.4
H27	25,527	11,818	46.3	73	0.3	1,811	7.1	9,934	38.9
H28	25,508	10,696	41.9	77	0.3	1,701	6.7	8,918	35.0
H29	25,632	10,399	40.6	63	0.2	1,521	5.9	8,815	34.4

注)H29年度数値には義務教育学校第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年及び義務教育学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

2 幼保連携型認定こども園

[表5]園数・学級数・園児数・教員・保育職員数(本務者)数の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園当たりの園児数		1学級当たりの園児数		教育・保育職員数(本務者)		教員1人当たりの園児数	
	園数	対前年増減数	学級数	対前年増減数	園児数	対前年増減数	1園当たりの園児数	対前年増減数	1学級当たりの園児数	対前年増減数	教育・保育職員数(本務者)	対前年増減数	教員1人当たりの園児数	対前年増減数
	園		学級		人									
H27	41	41	241	241	6,685	6,685	163.0	163.0	27.7	27.7	901	901	7.4	7.4
H28	61	20	313	72	8,646	1,961	141.7	21.3	27.6	0.1	1,335	434	6.5	0.9
H29	88	27	428	115	11,945	3,299	135.7	6.0	27.9	0.3	1,917	582	6.2	0.2
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	15	-	347	13	115.7	4.4	23.1	0.9	46	7	7.5	1.2
私立	85	27	413	115	11,598	3,286	136.4	6.9	28.1	0.2	1,871	589	6.2	0.3
男	6,079	1,690	74	24
女	5,866	1,609	1,843	558

(1) 園数

- ア 園数は88園で、前年度より27園増加している。 [表5]
 イ 設置者別では、公立3園、私立85園で、前年度より私立は27園増加している。 [表5]

(2) 学級数(3~5歳児)

- ア 学級数は428学級で、前年度より115学級増加している。 [表5]
 イ 設置者別では、公立15学級、私立413学級である。 [表5]

(3) 園児数

- ア 在園者数は11,945人で、前年度より3,299人増加している。 [表5]
 イ 設置者別では、公立347人(男子181人、女子166人)で、私立11,598人(男子5,898人、女子5,700人)で、前年度より公立は13人、私立は3,286人増加している。 [表5]
 ウ 男女別では、男子6,079人、女子5,866人で、前年度より男子は1,690人、女子は1,609人増加している。 [表5]
 エ 年齢別では、0歳児321人(男子170人、女子151人)、1歳児1,342人(男子667人、女子675人)、2歳児1,492人(男子763人、女子729人)、3歳児2,991人(男子1,552人、女子1,439人)、4歳児2,933人(男子1,500人、女子1,433人)、5歳児2,866人(男子1,427人、女子1,439人)で、前年度より0歳児57人、1歳児446人、2歳児450人、3歳児851人、4歳児821人、5歳児674人増加している。 [統計表6]
 オ 認定号別では、1号認定4,088人、2号認定4,702人、3号認定3,155人で、前年度より1号認定849人、2号認定1,497人、3号認定953人増加している。 [統計表7]
 カ 1園当たりの園児数は135.7人で、前年度より6.0人減少している。 [表5]
 キ 1学級当たりの園児数は27.9人で、前年度より0.3人増加している。 [表5]

(4) 教育・保育職員数(本務者)

- ア 教育・保育職員数(本務者)は1,917人で、前年度より582人増加している。 [表5]
 イ 設置者別では、公立46人(男性1人、女性45人)、私立1,871人(男性73人、女性1,798人)で、前年度より公立は7人減少し、私立は589人増加している。 [表5・統計表9]
 ウ 男女別では、男性74人、女性1,843人で、前年度より男性は24人、女性は558人増加している。 [表5]
 エ 教育・保育職員(本務者)1人当たりの園児数は6.2人で、前年度より0.2人減少している。 [表5]
 オ 教育・保育職員(本務者)に占める女性の割合は96.1%で、前年度より0.2ポイント低下し、管理職に占める女性の割合は69.3%で、前年度より0.5ポイント上昇している。 [統計表9]

(5) 入園者数(3~5歳児)

- ア 入園者数は、3,062人で、前年度より514人増加している。 [表6]
 イ 設置者別では、公立65人(男子38人,女子27人),私立2,997人(男子1,547人,女子1,450人)で、前年度より公立は4人減少し、私立は518人増加している。 [表6・統計表11]
 ウ 男女別では、男子1,585人,女子1,477人で、前年度より男子は268人,女子は246人増加している。 [表6]
 エ 年齢別では、3歳児1,544人(男子824人,女子720人),4歳児784人(男子407人,女子377人),5歳児734人(男子354人,女子380人)で、前年度より3歳児は157人,4歳児は206人,5歳児は151人増加している。 [表6]

[表6]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数
H27	5,181	5,181	1,619	1,619	1,801	1,801	1,761	1,761
H28	2,548	2,633	1,387	232	578	1,223	583	1,178
H29	3,062	514	1,544	157	784	206	734	151
国立	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	65	4	56	1	3	5	6	-
私立	2,997	518	1,488	156	781	211	728	151
男	1,585	268	824	113	407	107	354	48
女	1,477	246	720	44	377	99	380	103

注)0~2歳児は入園年度を調査していないため、入園者数に含まない。

(6) 認可定員及び定員充足率

- ア 認可定員は13,648人で、前年度より3,574人増加している。 [表7]
 設置者別では、公立505人,私立13,143人で、前年度より公立は5人減少し、私立は3,574人増加している。 [表7]
 イ 定員充足率は87.5%で、前年度より1.7ポイント上昇している。 [表7]
 設置者別では、公立68.7%,私立88.2%で、前年度より公立は2.6ポイント,私立は1.3ポイント上昇している。 [表7]

[表7]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率
	人		%	人		%	人		%	人		%
H27	7,665	6,685	87.2	-	-	-	505	336	66.5	7,160	6,349	88.7
H28	10,074	8,646	85.8	-	-	-	505	334	66.1	9,569	8,312	86.9
H29	13,648	11,945	87.5	-	-	-	505	347	68.7	13,143	11,598	88.2

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)

- ア 修了者数は25,632人で、前年度より124人増加している。 [表8]
 設置者別では、公立94人,私立2,176人で、前年度より公立は5人減少し、私立は632人増加している。 [表8]
 イ 就園率は8.9%で、前年度より2.5ポイント上昇している。 [表8]
 設置者別では、公立0.4%,私立8.5%で、前年度より私立は2.4ポイント上昇している。 [表8]

[表8]修了者数・小学校第1学年に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校第1学年	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率
	人		%	人	%	人	%	人	%
H28	25,508	1,643	6.4	-	...	99	0.4	1,544	6.1
H29	25,632	2,270	8.9	-	...	94	0.4	2,176	8.5

注)H29年度数値には義務教育学校第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年及び義務教育学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

3 小学校

[表9] 学校数・学級数・児童数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		児童数		1校当たりの児童数		1学級当たりの児童数		教員数(本務者)		教員1人当たりの児童数	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数
	校		学級		人									
H25	526	23	6,560	72	154,762	1,527	294.2	9.5	23.6	0.0	9,401	75	16.5	0.0
H26	523	3	6,525	35	153,374	1,388	293.3	0.9	23.5	0.1	9,443	42	16.2	0.3
H27	508	15	6,534	9	152,704	670	300.6	7.3	23.4	0.1	9,525	82	16.0	0.2
H28	492	16	6,532	2	152,080	624	309.1	8.5	23.3	0.1	9,534	9	16.0	0.1
H29	488	4	6,517	15	151,464	616	310.4	1.3	23.2	0.0	9,604	70	15.8	0.2
国立	3	-	42	-	1,182	55	394.0	18.3	28.1	1.3	65	1	18.2	1.1
公立	477	4	6,392	14	148,477	573	311.3	1.4	23.2	0.0	9,403	72	15.8	0.2
私立	8	-	83	1	1,805	12	225.6	1.5	21.7	0.4	136	3	13.3	0.4
男	77,598	254	3,084	11
女	73,866	362	6,520	59

(1) 学校数

- ア 学校数は488校で、前年度より4校減少している。 [表9]
- イ 設置者別では、国立3校、公立477校、私立8校で、公立で4校減少している。 [表9]
- ウ ヘキ地指定(公立のみ)の学校数は39校である。

(2) 学級数

- ア 学級数は6,517学級で、前年度より15学級減少している。 [表9]
- イ 設置者別では、国立42学級、公立6,392学級、私立83学級で、前年度より公立は14学級、私立は1学級減少している。 [表9]
- ウ 学級編制方式別では、単式学級5,329学級、複式学級123学級、特別支援学級1,065学級で、前年度より単式学級は57学級減少し、複式学級は2学級、特別支援学級は40学級増加している。 [統計表13]

(3) 児童数

- ア 児童数は151,464人で、前年度より616人減少している。 [表9]
- イ 設置者別では、国立1,182人(男子589人、女子593人)、公立148,477人(男子76,154人、女子72,323人)、私立1,805人(男子855人、女子950人)で、前年度より国立は55人、公立は573人減少し、私立は12人増加している。 [表9・統計表14]
- ウ 学級編制方式別では、単式学級145,733人、複式学級1,136人、特別支援学級4,595人で、前年度より単式学級は1,061人減少し、複式学級は67人、特別支援学級は378人増加している。 [統計表15]
- エ 男女別では、男子77,598人、女子73,866人で、前年度より男子は254人、女子は362人減少している。 [表9]
- オ 帰国児童数は75人で、前年度間より12人減少している。 [統計表14]
- カ 外国人児童数は845人で、前年度より21人増加している。 [統計表14]
- キ 1校当たりの児童数は310.4人で、前年度より1.3人増加している。 [表9]
- ク 1学級当たりの児童数は23.2人で、前年度とほぼ同数である。 [表9]

(4) 教員数(本務者)

- ア 教員数(本務者)は9,604人で、前年度より70人増加している。 [表9]
- イ 設置者別では、国立65人(男性35人、女性30人)、公立9,403人(男性2,989人、女性6,414人)、私立136人(男性60人、女性76人)で、前年度より国立は1人、公立は72人増加し、私立は3人減少している。 [表9・統計表16]
- ウ 男女別では、男性3,084人、女性6,520人で、前年度より男性は11人、女性は59人増加している。 [表9]
- エ 教員(本務者)1人当たりの児童数は15.8人で、前年度より0.2人減少している。 [表9]
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は67.9%で、前年度より0.1ポイント増加し、管理職に占める女性の割合は40.1%で、前年度より2.5ポイント増加している。 [統計表16]

4 中学校

[表10] 学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1校当たりの生徒数		1学級当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学級		人									
H25	278	2	2,799	9	80,667	632	290.2	0.2	28.8	0.3	5,549	36	14.5	0.2
H26	274	4	2,788	11	80,063	604	292.2	2.0	28.7	0.1	5,559	10	14.4	0.1
H27	272	2	2,791	3	79,301	762	291.5	0.7	28.4	0.3	5,582	23	14.2	0.2
H28	270	2	2,772	19	78,536	765	290.9	0.6	28.3	0.1	5,577	5	14.1	0.1
H29	267	3	2,709	63	76,520	2,016	286.6	4.3	28.2	0.1	5,524	53	13.9	0.2
国立	4	-	33	-	1,238	-	309.5	0.0	37.5	0.0	65	5	19.0	1.6
公立	235	3	2,458	59	67,782	1,803	288.4	4.0	27.6	0.1	4,938	47	13.7	0.2
私立	28	-	218	4	7,500	213	267.9	7.6	34.4	0.3	521	11	14.4	0.1
男	39,108	1,086	3,029	63
女	37,412	930	2,495	10

(注) 平成28年度から二部授業の「学級数」「生徒数」「担当教員数」は含まれていない。

(1) 学校数

- ア 学校数は267校で、前年度より3校減少している。 [表10]
- イ 設置者別では、国立4校、公立235校、私立28校で、前年度より公立は3校減少している。 [表10]
- ウ ヘキ地指定(公立のみ)の学校数は18校である。

(2) 学級数

- ア 学級数は2,709学級で、前年度より63学級減少している。 [表10]
- イ 設置者別では、国立33学級、公立2,458学級、私立218学級で、前年度より公立は59学級、私立は4学級減少している。 [表10]
- ウ 学級編制方式別では、単式学級2,289学級、複式学級0学級、特別支援学級420学級で、前年度より単式学級は71学級減少し、特別支援学級は8学級増加している。 [統計表19]

(3) 生徒数

- ア 生徒数は76,520人で、前年度より2,016人減少している。 [表10]
- イ 設置者別では、国立1,238人(男子616人、女子622人)、公立67,782人(男子34,664人、女子33,118人)、私立7,500人(男子3,828人、女子3,672人)で、前年度より、公立は1,803人、私立は213人減少している。 [表10・統計表20]
- ウ 学級編制方式別では、単式学級75,027人、複式学級0人、特別支援学級1,493人で、前年度より単式学級は2,119人減少し、特別支援学級は103人増加している。 [統計表21]
- エ 男女別では、男子39,108人、女子37,412人で、前年度より男子は1,086人、女子は930人減少している。 [表10]
- オ 帰国生徒数は25人で、前年度間より11人減少している。 [統計表20]
- カ 外国人生徒数は377人で、前年度より32人増加している。 [統計表20]
- キ 1校当たりの生徒数は286.6人で、前年度より4.3人減少している。 [表10]
- ク 1学級当たりの生徒数は28.2人で、前年度より0.1人減少している。 [表10]

(4) 教員数(本務者)

- ア 教員数(本務者)は5,524人で、前年度より53人減少している。 [表10]
- イ 設置者別では、国立65人(男性42人、女性23人)、公立4,938人(男性2,663人、女性2,275人)、私立521人(男性324人、女性197人)で、前年度より、国立は5人増加し、公立は47人、私立は11人減少している。 [表10・統計表22]
- ウ 男女別では、男性3,029人、女性2,495人で、前年度より男性は63人減少し、女性は10人増加している。 [表10]
- エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.9人で、前年度より0.2人減少している。 [表10]
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は45.2%で、前年度より0.6ポイント上昇し、管理職に占める女性の割合は13.2%で、前年度より2.2ポイント上昇している。 [統計表22]

(5) 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)

- ア 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)は2校(すべて公立)で、学級数は6学級、生徒数は43人、教員数(本務者)は10人である。

5 義務教育学校

[表11]学校数・学級数・児童生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数	学級数	児童生徒数	1校当たりの児童生徒数	1学級当たりの児童生徒数	教員数(本務者)	教員1人当たりの児童生徒数
	校	学級	人				
H29	2	47	1,211	605.5	25.8	85	14.2
国立	-	-	-	-	-	-	-
公立	2	47	1,211	605.5	25.8	85	14.2
私立	-	-	-	-	-	-	-
男	632	33	...
女	579	52	...

(1) 学校数

ア 学校数は2校で、今年度新設である。

[表 11]

イ 設置者は、すべて公立である。

[表 11]

(2) 学級数

ア 学級数は47学級である。

[表 11]

イ 学級編制方式別では、単式学級37学級、特別支援学級10学級である。

[統計表 25]

(3) 児童生徒数

ア 児童生徒数は1,211人(前期課程791人、後期課程420人)である。 [表 11・統計表 26]

イ 学級編制方式別では、単式学級1,171人、複式学級0人、特別支援学級40人である。

[統計表 27]

ウ 男女別では、男子632人(前期課程414人、後期課程218人)、女子579人(前期課程377人、後期課程202人)である。

[表 11・統計表 26]

エ 帰国児童生徒はなし。

[統計表 26]

オ 外国人児童生徒数は2人である。

[統計表 26]

カ 1校当たりの児童生徒数は605.5人である。

[表 11]

キ 1学級当たりの児童生徒数は25.8人である。

[表 11]

(4) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は85人である。

[表 11]

イ 男女別では、男性33人、女性52人である。

[表 11]

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.2人である。

[表 11]

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は61.2%で、管理職に占める女性の割合は33.3%である。

[統計表 28]

6 高等学校

〔1〕全日制・定時制・通信制

[表12]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H25	136	-	78,339	951	576.0	7.0	5,459	53	14.4	0.1
H26	136	-	78,374	35	576.3	0.3	5,454	5	14.4	0.0
H27	136	-	77,397	977	569.1	7.2	5,461	7	14.2	0.2
H28	136	-	76,775	622	564.5	4.6	5,477	16	14.0	0.2
H29	136	-	76,197	578	560.3	4.2	5,455	22	14.0	0.0
国立	2	-	1,216	10	608.0	5.0	79	5	15.4	0.8
公立	94	1	50,292	719	535.0	13.5	3,856	52	13.0	0.0
私立	40	1	24,689	151	617.2	18.7	1,520	35	16.2	0.3
男	38,630	341	3,627	45
女	37,567	237	1,828	23

(1) 学校数

ア 学校数は136校で、前年度と同数である。 [表12]

イ 設置者別では、国立2校、公立94校、私立40校で、前年度と同数である。 [表12]

(2) 生徒数

ア 生徒数は76,197人で、前年度より578人減少している。 [表12]

イ 設置者別では、国立1,216人、公立50,292人、私立24,689人で、前年度より国立は10人、公立は719人減少し、私立は151人増加している。 [表12]

ウ 男女別では、男子38,630人、女子37,567人で、前年度より男子は341人、女子は237人減少している。 [表12]

エ 学科分野別では、普通科56,616人(男子28,095人、女子28,521人)が最も多く、次いで総合学科6,948人(男子3,046人、女子3,902人)、工業科5,364人(男子4,851人、女子513人)商業科4,114人(男子1,429人、女子2,685人)となっている。 [統計表32・38・43]

オ 1校当たりの生徒数は560.3人で、前年度より4.2人減少している。 [表12]

(3) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は5,455人で、前年度より22人減少している。 [表12]

イ 設置者別では、国立79人、公立3,856人、私立1,520人で、前年度より、国立は5人、公立は52人減少し、私立は35人増加している。 [表12]

ウ 男女別では、男性3,627人、女性1,828人で、前年度より男性は45人減少し、女性は23人増加している。 [表12]

エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.0人で、前年度とほぼ同数である。 [表12]

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は33.5%で、前年度より0.5ポイント上昇し、管理職に占める女性の割合は7.4%で、0.1ポイント上昇している。 [統計表33・39・44]

(4) 入学状況

ア 入学者は25,376人(男子12,836人、女子12,540人)で、前年度より118人増加している。 [統計表36・42・46]

イ 男女別では、男子12,836人、女子12,540人で、前年度より男子は17人、女子は101人増加している。 [統計表36・42・46]

〔2〕全日制

[表13]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H25	126	-	72,221	693	573.2	5.5	5,092	48	14.2	0.0
H26	126	-	72,359	138	574.3	1.1	5,078	14	14.2	0.0
H27	126	-	71,687	672	568.9	5.4	5,085	7	14.1	0.2
H28	126	-	71,417	270	566.8	2.1	5,102	17	14.0	0.1
H29	126	-	71,127	290	564.5	2.3	5086	16	14.0	0.0
国立	2	-	1,216	10	608.0	5.0	79	5	15.4	0.8
公立	88	-	46,366	574	526.9	6.5	3,529	53	13.1	0.0
私立	36	-	23,545	294	654.0	8.1	1,478	42	15.9	0.3
男	35,719	157	3,384	37
女	35,408	133	1,702	21

(1) 学校数

ア 学校数は126校で、前年度と同数である。 [表13]

イ 設置者別では、国立2校、公立88校、私立36校で、前年度と同数である。 [表13]

(2) 生徒数

ア 生徒数は71,127人(専攻科含む。)で、前年度より290人減少している。 [表13]

イ 設置者別では、国立1,216人(男子650人、女子566人)、公立46,366人(男子22,275人、女子24,091人)、私立23,545人(男子12,794人、女子10,751人)で、前年度より、国立は10人、公立は574人減少し、私立は294人増加している。 [表13・統計表31]

ウ 男女別では、男子35,719人、女子35,408人で、前年度より男子は157人、女子は133人減少している。 [表13]

エ 学科分野別では、普通科52,062人(男子25,513人、女子26,549人)が最も多く、次いで総合学科6,948人(男子3,046人、女子3,902人)、工業科5,128人(男子4,636人、女子492人)、商業科3,834人(男子1,315人、女子2,519人)、農業科1,537人(男子969人、女子568人)、家庭科792人(男子40人、女子752人)、その他572人(男子192人、女子335人)、看護科161人(女子161人)、福祉科58人(男子8人、女子50人)となっている。 [統計表32]

オ 帰国生徒数は15人で、前年度間より2人減少している。 [統計表31]

カ 外国人生徒数は244人で、前年度より16人増加している。 [統計表31]

キ 1校当たりの生徒数は564.5人で、前年度より2.3人減少している。 [表13]

注)外国人生徒数は、全日制と定時制の合計生徒数における内数であり、結果の概要及び統計表では全日制にあげている。

(3) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は5,086人で、前年度より16人減少している。 [表13]

イ 設置者別では、国立79人(男性57人、女性22人)、公立3,529人(男性2,254人、女性1,275人)、私立1,478人(男性1,073人、女性405人)で、前年度より、国立は5人、公立は53人減少し、私立は42人増加している。 [表13・統計表33]

ウ 男女別では、男性3,384人、女性1,702人で、前年度より男性は37人減少し、女性は21人増加している。 [表13]

エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.0人で、前年度とほぼ同数である。 [表13]

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は33.5%で、前年度より0.6ポイント上昇し、管理職に占める女性の割合は8.1%で、前年度より0.4ポイント上昇している。 [統計表33]

(4) 入学状況

- ア 入学定員は 25,751 人で、前年度より 68 人減少している。 [表 14]
 設置者別では、国立 400 人、公立 16,362 人、私立 8,989 人で、前年度より公立は 38 人、私立は 30 人減少している。 [表 14]
- イ 入学志願者は 41,862 人で、前年度より 245 人減少している。 [表 14]
 設置者別では、国立 723 人（男子 413 人、女子 310 人）、公立 21,329 人（男子 10,397 人、女子 10,932 人）、私立 19,810 人（男子 10,349 人、女子 9,461 人）で、前年度より国立は 16 人、公立は 353 人減少し、私立は 124 人増加している。 [表 14・統計表 36]
 男女別では、男子 21,159 人、女子 20,703 人で、前年度より男子は 329 人減少し、女子は 84 人増加している。 [表 14]
- ウ 競争率は 1.6 倍で、前年度とほぼ同数である。 [表 14]
 設置者別では、国立 1.8 倍、公立 1.3 倍、私立 2.2 倍で、いずれも前年度とほぼ同数である。 [表 14]
- エ 入学者は 24,255 人で、前年度より 144 人増加している。 [表 14]
 設置者別では、国立 403 人（男子 220 人、女子 183 人）、公立 15,659 人（男子 7,540 人、女子 8,119 人）、私立 8,193 人（男子 4,429 人、女子 3,764 人）で、前年度より国立は 3 人、公立は 56 人減少し、私立は 203 人増加している。 [表 14・統計表 36]
 男女別では、男子 12,189 人、女子 12,066 人で、前年度より男子は 49 人、女子は 95 人増加している。 [表 14]
- オ 定員充足率は 94.2% で、前年度より 0.8 ポイント上昇している。 [表 14]
 設置者別では、国立 100.8%、公立 95.7%、私立 91.1% で、前年度より、国立は 0.7 ポイント、公立は 0.1 ポイント低下し、私立は 2.6 ポイント上昇している。 [表 14]

[表14]入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
	人	対前年増減数		対前年増減数	倍	対前年増減数	人	対前年増減数	%	対前年増減数
H25	26,551	334	43,782	776	1.6	0.0	24,596	386	92.6	0.3
H26	26,471	80	43,965	183	1.7	0.0	24,754	158	93.5	0.9
H27	25,964	507	42,371	1,594	1.6	0.0	24,185	569	93.1	0.4
H28	25,819	145	42,107	264	1.6	0.0	24,111	74	93.4	0.2
H29	25,751	68	41,862	245	1.6	0.0	24,255	144	94.2	0.8
国立	400	-	723	16	1.8	0.0	403	3	100.8	0.7
公立	16,362	38	21,329	353	1.3	0.0	15,659	56	95.7	0.1
私立	8,989	30	19,810	124	2.2	0.0	8,193	203	91.1	2.6
男	21,159	329	12,189	49
女	20,703	84	12,066	95

〔 3 〕 定時制

[表15]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H25	22	-	2,214	147	100.6	6.7	280	4	7.9	0.4
H26	22	-	2,086	128	94.8	5.8	282	2	7.4	0.5
H27	22	-	1,937	149	88.0	6.8	281	1	6.9	0.5
H28	22	-	1,841	96	83.7	4.3	278	3	6.6	0.3
H29	23	1	1,787	54	77.7	6.0	281	3	6.4	0.3
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	22	1	1,787	54	81.2	6.4	281	3	6.4	0.3
私立	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,112	46	190	3
女	675	8	91	6

(1) 学校数

ア 学校数は23校(併置19校)で、前年度より1校増加している。 [表15]

イ 設置者別では、公立22校、私立1校(休校中)で、前年度より公立は1校増加している。 [表15]

(2) 生徒数

ア 生徒数は1,787人で、前年度より54人減少している。 [表15]

イ 男女別では、男子1,112人、女子675人で、前年度より男子は46人、女子は8人減少している。 [表15]

ウ 学科分野別では、普通科1,271人(男子783人、女子488人)が最も多く、次いで商業科280人(男子114人、女子166人)、工業科236人(男子215人、女子21人)となっている。 [統計表38]

エ 1校当たりの生徒数は77.7人で、前年度より6.0人減少している。 [表15]

(3) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は281人で、前年度より3人増加している。 [表15]

イ 男女別では、男性190人、女性91人で、前年度より男性は3人減少し、女性は6人増加している。 [表15]

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は6.4人で、前年度より0.3人減少している。 [表15]

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は32.4%で、前年度より1.8ポイント上昇し、管理職に占める女性の割合は0.0%で、前年度より3.8ポイント低下している。 [統計表39]

(4) 入学状況

ア 入学定員は1,040人で、前年度と同じである。 [統計表42]

イ 入学志願者は716人で、前年度より78人減少している。 [統計表42]

男女別では、男子454人、女子262人で、前年度より男子は38人、女子は40人増加している。 [統計表42]

ウ 入学者は524人で、前年度より17人増加している。 [統計表42]

男女別では、男子317人、女子207人で、前年度より男子は12人減少し、女子は29人増加している。 [統計表42]

エ 入学率は73.2%で、前年より6.3ポイント低下している。 [統計表42]

男女別では、男子69.8%、女子79.0%で、前年より男子は9.3ポイント、女子は1.2ポイント低下している。 [統計表42]

オ 定員充足率は50.4%で、前年度より1.6ポイント上昇している。 [統計表42]

〔 4 〕 通信制

[表16]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H25	8	-	3,904	111	488.0	13.9	87	1	44.9	0.7
H26	8	-	3,929	25	491.1	3.1	94	7	41.8	3.1
H27	8	-	3,773	156	471.6	19.5	95	1	39.7	2.1
H28	8	-	3,517	256	439.6	32.0	97	2	36.3	3.5
H29	8	-	3,283	234	410.4	29.2	88	9	37.3	1.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	1	2,139	91	713.0	402.0	46	2	46.5	0.0
私立	5	1	1,144	143	228.8	14.3	42	7	27.2	1.0
男	1,799	138	53	5
女	1,484	96	35	4

(1) 学校数

ア 学校数は8校(併置2校)で、前年度と同数である。 [表 16]

イ 設置者別では、公立3校、私立5校で、前年度より公立は1校増加し、私立は1校減少している。 [表 16]

(2) 生徒数

ア 生徒数は3,283人で、前年度より234人減少している。 [表 16]

イ 設置者別では、公立2,139人、私立1,144人で、前年度より公立は91人、私立は143人減少している。 [表 16]

ウ 男女別では、男子1,799人、女子1,484人で、前年度より男子は138人、女子は96人減少している。 [表 16]

エ 学科分野別では、普通科のみとなっている。 [表 16]

オ 1校当たりの生徒数は410.4人で、前年度より29.2人減少している。 [表 16]

(3) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は88人で、前年度より9人減少している。 [表 16]

イ 設置者別では、公立46人、私立42人で、前年度より公立は2人、私立は7人減少している。 [表 16]

ウ 男女別では、男性53人、女性35人で、前年度より男性は5人、女性は4人減少している。 [表 16]

エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は37.3人で、前年度より1.0人増加している。 [表 16]

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は39.8%で、前年度より0.4ポイント低下し、管理職に占める女性の割合は9.1%で、前年度より2.0ポイント上昇している。 [統計表 44]

(4) 入学状況

ア 入学者は597人で、前年度より43人減少している。 [統計表 46]

男女別では、男子330人、女子267人で、前年度より男子は20人、女子は23人減少している。 [統計表 46]

7 中等教育学校

[表17]学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1学級当 たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人							
H26	1	1	4	4	118	118	29.5	29.5	7	7	16.9	16.9
H27	1	-	8	4	232	114	29.0	0.5	11	4	21.1	4.2
H28	1	-	12	4	349	117	29.1	0.1	17	6	20.5	0.6
H29	1	-	16	4	469	120	29.3	0.2	29	12	16.2	4.4
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1	-	16	4	469	120	29.3	0.2	29	12	16.2	4.4
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	211	42	19	9
女	258	78	10	3

(1) 学校数

ア 学校数は1校で、前年度と同数である。 [表 17]

イ 設置者は、公立のみである。 [表 17]

(2) 学級数

ア 学級数は16学級で、前年度より4学級増加している。 [表 17]

イ 学級編成方式は単式学級16学級のみで、前年度より4学級増加している。 [統計表 47]

ウ 課程別では、前期課程12学級、後期課程4学級で、後期課程は4学級増加している。

[統計表 47]

(3) 生徒数

ア 生徒数は469人で、前年度より120人増加している。 [表 17]

イ 男女別では、男子221人、女子258人で、前年度より男子は42人、女子は78人増加している。 [表 17]

ウ 課程別では、前期課程353人(男子145人、女子208人)、後期課程116人(男子66人、女子50人)で、前年度より前期課程は4人、後期課程は116人増加している。 [統計表 48]

エ 帰国生徒数は1人(前期課程1人)で、前年度と同数である。 [統計表 48]

オ 外国人生徒数は2人(前期課程2人)で、前年度と同数である。 [統計表 48]

カ 1学級当たりの生徒数は29.3人で、前年度より0.2人増加している。 [表 17]

(4) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は29人で、前年度より12人増加している。 [表 17]

イ 男女別では、男性19人、女性10人で、前年度より男性は9人、女性は3人減少している。 [表 17]

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は16.2人で、前年度より4.4人減少している。 [表 17]

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は34.5%で、前年度より6.7ポイント低下し、管理職に占める女性の割合は33.3%で、前年度より33.3ポイント上昇している。 [統計表 49]

8 特別支援学校

[表18] 学校数・学級数・在学者数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		在学者数		1校当たりの在学者数		1学級当たりの在学者数		教員数(本務者)		教員1人当たりの在学者数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学級		人									
H25	18	-	567	5	2,340	80	130.0	4.4	4.1	0.1	1,328	35	1.8	0.0
H26	18	-	604	37	2,494	154	138.6	8.6	4.1	0.0	1,412	84	1.8	0.0
H27	18	-	626	22	2,592	98	144.0	5.4	4.1	0.0	1,496	84	1.7	0.0
H28	18	-	648	22	2,673	81	148.5	4.5	4.1	0.0	1,537	41	1.7	0.0
H29	18	-	645	3	2,713	40	150.7	2.2	4.2	0.1	1,555	18	1.7	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	18	-	645	3	2,713	40	150.7	2.2	4.2	0.1	1,555	18	1.7	0.0
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,769	27	582	14
女	944	13	973	32

(1) 学校数

ア 学校数は18校で、前年度と同数である。

[表 18]

イ 設置者は、すべて公立である。

[表 18]

(2) 学級数

ア 学級数は645学級で、前年度より3学級減少している。

[表 18]

イ 部別では、幼稚部9学級、小学部237学級、中学部151学級、高等部248学級で、前年度より幼稚部は1学級減少し、小学部は2学級増加し、中学部は4学級減少し、高等部は6学級増加している。

[統計表 52]

(3) 在学者数

ア 在学者数は2,713人で、前年度より40人増加している。

[表 18]

イ 男女別では、男子1,769人、女子944人で、前年度より男子は27人、女子は13人増加している。

[表 18]

ウ 部別では、幼稚部22人(男子14人、女子8人)、小学部809人(男子537人、女子272人)、中学部551人(男子333人、女子218人)、高等部1,331人(男子885人、女子446人)である。

[統計表 53]

エ 外国人在学者数は、12人(小学部5人、中学部1人、高等部6人)で、前年度より4人増加している。

[統計表 53]

オ 1校当たりの在学者数は150.7人で、前年度より2.2人増加した。

[表 18]

カ 1学級当たりの在学者数は4.2人で、前年度より0.1人増加した。

[表 18]

(4) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は1,555人で、前年度より18人増加している。

[表 18]

イ 男女別では、男性582人、女性973人で、前年度より男性は14人減少し、女性は32人増加している。

[表 18]

ウ 教員(本務者)1人当たりの在学者数は1.7人で、前年度とほぼ同数である。

[表 18]

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は62.6%で、前年度より1.4ポイント上昇し、管理職に占める女性の割合は39.6%で、前年度より4.8ポイント上昇している。

[統計表 54]

9 専修学校

[表19]学校数・学科数・在学者数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学科数		生徒数		1校当たりの在学者数		1学科当たりの在学者数		教員数(本務者)		教員1人当たりの在学者数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学科		人									
H25	80	-	215	6	13,000	33	162.5	0.4	60.5	1.8	841	19	15.5	0.4
H26	80	-	209	6	12,819	181	160.2	2.3	61.3	0.9	818	23	15.7	0.2
H27	80	-	213	4	12,602	217	157.5	2.7	59.2	2.2	819	1	15.4	0.3
H28	80	-	201	12	12,449	153	155.6	1.9	61.9	2.8	822	3	15.1	0.2
H29	78	2	230	29	12,552	103	160.9	5.3	54.6	7.4	828	6	15.2	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	7	-	639	18	213.0	6.0	91.3	2.6	74	1	8.6	0.1
私立	75	2	223	29	11,913	121	158.8	5.7	53.4	7.4	754	7	15.8	0.0
男	5,084	195	356	9
女	7,468	92	472	3

(1) 学校数

ア 学校数は78校で、前年度より2校減少している。 [表19]

イ 設置者別では、公立3校、私立75校で、前年度より公立は2校減少している。 [表19]

(2) 学科数

ア 学科数は230学科で、前年度より29学科増加している。 [表19]

イ 設置者別では、公立7学科、私立223学科である。 [表19]

(3) 生徒数

ア 生徒数は12,552人で、前年度より103人増加している。 [表19]

イ 設置者別では、公立639人(男子124人、女子515人)、私立11,913人(男子4,960人、女子6,953人)で、前年度より公立は18人減少し、私立は121人増加している。

[表19・統計表57]

ウ 男女別では、男子5,084人、女子7,468人で、前年度より男子は195人増加し、女子は92人減少している。 [表19]

エ 課程別では、高等課程1,013人、専門課程11,539人で、前年度より高等課程は63人減少し、専門課程は166人増加している。 [統計表57]

オ 分野別では、医療関係4,229人(男子1,188人、女子3,041人)が最も多く、次いで文化・教養関係2,994人(男子1,650人、女子1,344人)、衛生関係1,539人(男子496人、女子1,043人)、工業関係1,354人(男子1,183人、女子171人)、商業実務関係991人(男子220人、女子771人)、教育・社会福祉関係797人(男子235人、女子562人)、服飾・家政関係583人(男子60人、女子523人)、農業関係65人(男子52人、女子13人)となっている。

[統計表58]

カ 1校当たりの在学者数は160.9人で、前年度より5.3人増加している。 [表19]

キ 1学級当たりの在学者数は54.6人で、前年度より7.4人増加している。 [表19]

(4) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は828人で、前年度より6人増加している。 [表19]

イ 設置者別では、公立74人(男性15人、女性59人)、私立754人(男性341人、女性413人)で、前年度より公立は1人減少し、私立は7人増加している。 [表19・統計表57]

ウ 男女別では、男性356人、女性472人で、前年度より男性は9人増加し、女性は3人減少している。 [表19]

エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.2人で、前年度とほぼ同数である。 [表19]

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は57.0%で、前年度より0.8ポイント低下している。

[表19]

(5) 入学状況(平成29年度春期)及び卒業状況(平成29年3月)

- ア 入学定員は8,860人で、前年度より28人増加している。 [表20]
 設置者別では、公立240人、私立8,620人で、前年度より私立は28人増加している。 [表20]
- イ 入学志願者は7,440人で、前年度より307人増加している。 [表20]
 設置者別では、公立599人、私立6,841人で、前年度より公立は29人減少し、私立は336人増加している。 [表20]
- ウ 入学者は5,992人で、前年度より429人増加している。 [表20]
 設置者別では、公立219人、私立5,773人で、前年度より公立は12人減少し、私立は441人増加している。 [表20]
 男女別では、男子2,609人、女子3,383人で、前年度より男子は332人、女子は97人増加している。 [表20]
- エ 入学率は80.5%で、前年度より2.5ポイント上昇している。 [表20]
 設置者別では、公立36.6%、私立84.4%で、前年度より公立は0.2ポイント低下し、私立は2.4ポイント上昇している。 [表20]
- オ 定員充足率は67.6%で、前年度より4.6ポイント上昇している。 [表20]
 設置者別では、公立91.3%、私立67.0%で、前年度より公立は5.0ポイント低下し、私立は4.9ポイント上昇している。 [表20]
- カ 卒業生数は5,359人で、前年度間より211人増加している。 [表20]
 設置者別では、公立231人、私立5,128人で、前年度より公立は8人、私立は203人増加している。 [表20]
 男女別では、男子2,186人、女子3,173人で、前年度より男子は116人、女子は95人増加している。 [表20]
- キ 卒業生のうち、関係分野に就職した者は3,630人で、前年度より76人減少している。 [表20]
 男女別では、男子1,303人、女子2,327人で、前年度より男子は52人、女子は24人減少している。 [表20]

[表20]入学定員・入学志願者・入学者・定員充足率・卒業生・就職者(関係分野)の推移

年度	入学定員		入学志願者		入学者		入学率		定員充足率		卒業生		関係分野就職者	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	対前年増減数	増減数	
	人						%				人			
H25	9,200	30	8,102	951	5,925	3	73.1	1.4		64.6	5,135	26	3,629	40
H26	9,139	61	7,519	583	5,729	196	76.2	3.1	62.7	62.7	5,206	71	3,816	187
H27	8,979	160	7,462	57	5,817	88	78.0	1.8	64.8	2.1	5,244	38	3,842	26
H28	8,832	147	7,133	329	5,563	254	78.0	0.0	63.0	1.8	5,148	96	3,706	136
H29	8,860	28	7,440	307	5,992	429	80.5	2.5	67.6	4.6	5,359	211	3,630	76
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	240	-	599	29	219	12	36.6	0.2	91.3	5.0	231	8
私立	8,620	28	6,841	336	5,773	441	84.4	2.4	67.0	4.9	5,128	203
男	2,609	332	2,186	116	1,303	52
女	3,383	97	3,173	95	2,327	24

注)関係分野就職者とは、卒業生のうち関係分野に就職した者である。

10 各種学校

[表21]学校数・課程数・在学者数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		課程数		生徒数		1校当たりの在学者数		1課程当たりの在学者数		教員数(本務者)		教員1人当たりの在学者数	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	校		課程		人									
H25	29	3	34	10	2,295	50	79.1	5.9	67.5	14.2	141	16	16.3	1.3
H26	29	-	35	1	2,375	80	81.9	2.8	67.9	0.4	154	13	15.4	0.9
H27	28	1	30	5	2,488	113	88.9	7.0	82.9	15.1	139	15	17.9	2.5
H28	27	1	31	1	2,609	121	96.6	7.8	84.2	1.2	149	10	17.5	0.4
H29	26	1	31	-	2,350	259	90.4	6.2	75.8	8.4	175	26	13.4	4.1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	26	1	31	-	2,350	259	90.4	6.2	75.8	8.4	175	26	13.4	4.1
男	1,404	210	91	22
女	946	49	84	4

(1) 学校数

ア 学校数は26校で、前年度より1校減少している。

[表 21]

イ 設置者は、私立のみである。

[表 21]

(2) 課程数

ア 課程数は31課程で、前年度と同数である。

[表 21]

(3) 生徒数

ア 生徒数は2,350人で、前年度より259人減少している。

[表 21]

イ 男女別では、男子1,404人、女子946人で、前年度より男子は210人、女子は49人減少している。

[表 21]

ウ 課程別では、各種学校のみにある課程1,696人(男子1,142人、女子554人)が最も多く、次いで文化・教養関係322人(男子186人、女子136人)、医療関係320人(男子70人、女子250人)、工業関係6人(男子6人)、家政関係6人(女子6人)となっている。

[統計表 60]

エ 1校当たりの在学者数は90.4人で、前年度より6.2人減少している。

[表 21]

オ 1課程当たりの在学者数は75.8人で、前年度より8.4人減少している。

[表 21]

(4) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は175人で、前年度より26人増加している。

[表 21]

イ 男女別では、男性91人、女性84人で、前年度より男性は22人、女性は4人増加している。

[表 21]

ウ 教員(本務者)1人当たりの在学者数は13.4人で、前年度より4.1人減少している。

[表 21]

(5) 入学状況(平成29年度春期)及び卒業状況(平成29年3月)

ア 入学者数は1,697人で、前年度より184人減少している。

[統計表 60]

男女別では、男子1,108人、女子589人で、前年度より男子は141人、女子は43人減少している。

[統計表 60]

課程別では、各種学校のみにある課程が1,424人と最も多く、次いで医療関係157人、文化・教養関係103人、工業関係3人となっている。

[統計表 60]

イ 卒業生数は1,900人で、前年度より69人増加している。

[統計表 60]

男女別では、男子1,283人、女子617人で、前年度より男子は74人増加し、女子は5人減少している。

[統計表 60]

課程別では、各種学校のみにある課程が1,543人と最も多く、次いで文化・教養関係213人、医療関係127人、工業関係11人となっている。

[統計表 60]

卒業後の状況調査

1 中学校

[表22]状況別卒業生数・進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D		A		B		C		D		A・Bのうち就職している者		進学率		就職率	
	卒業生	対前年増減数	進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者	対前年増減数	左記以外、不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人													%		
H25	27,204	327	26,658	363	178	46	128	23	240	13	9	6	98.0	0.2	0.5	0.1
H26	27,297	93	26,827	169	151	27	127	1	192	48	2	7	98.3	0.3	0.5	0.0
H27	26,710	587	26,282	545	127	24	115	12	186	6	6	4	98.4	0.1	0.5	0.0
H28	26,566	144	26,193	89	122	5	95	20	156	30	4	2	98.6	0.2	0.4	0.1
H29	26,747	181	26,360	167	126	4	86	9	175	19	4	-	98.6	0.0	0.3	0.0
国立	402	-	396	4	4	2	1	1	1	1	-	-	98.5	1.0	0.2	0.2
公立	23,701	182	23,329	169	121	2	85	10	166	21	2	2	98.4	0.0	0.4	0.1
私立	2,644	1	2,635	2	1	-	-	-	8	3	2	2	99.7	0.1	0.1	0.1
男	13,705	73	13,492	85	58	-	68	10	87	2	4	1	98.4	0.1	0.5	0.1
女	13,042	108	12,868	82	68	4	18	1	88	21	-	1	98.7	0.2	0.1	0.0

注1)進学者とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)専修学校等入学者とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)就職者には、就職しながら進学又は入学した者を含む。

注4)'左記以外の者'とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等をいう。

(1) 卒業生数

- ア 卒業生数は26,747人で、前年より181人増加している。 [表22]
- イ 設置者別では、国立402人(男子195人、女子207人)、公立23,701人(男子12,150人、女子11,551人)、私立2,644人(男子1,360人、女子1,284人)で、前年より公立は182人増加し、私立は1人減少している。 [統計表61]
- ウ 男女別では、男子13,705人、女子13,042人で、前年より男子は73人、女子は108人増加している。 [表22]
- エ 特別支援学級の卒業生数は、432人(男子301人、女子131人)である。 [統計表64]

(2) 進学者数

- ア 進学者数は26,360人で、前年より167人増加している。 [表22]
- イ 設置者別では、国立396人(男子191人、女子205人)、公立23,329人(男子11,943人、女子11,386人)、私立2,635人(男子1,358人、女子1,277人)で、前年より国立は4人減少し、公立は169人、私立は2人増加している。 [表22・統計表62]
- ウ 男女別では、男子13,492人、女子12,868人で、前年より男子は85人、女子は82人増加している。 [表22]
- エ 進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程24,566人(男子12,368人、女子12,198人)、定時制課程473人(男子277人、女子196人)、通信制課程730人(男子402人、女子328人)、高等専門学校360人(男子284人、女子76人)、特別支援学校高等部231人(男子161人、女子70人)である。 [統計表62]
- オ 進学率は98.6%で、前年とほぼ同数である。 [表22]
- 男女別では、男子98.4%、女子98.7%で、前年より男子は0.1ポイント上昇し、女子は0.2ポイント低下している。 [表22]
- カ 特別支援学級の進学者は、377人(男子267人、女子110人)である。 [統計表64]

(3) 専修学校等入学者数

- ア 専修学校等入学者は126人で、前年より4人増加している。 [表22]
- イ 設置者別では、国立4人(男子2人、女子2人)、公立121人(男子56人、女子65人)、私立1人(女子1人)で、前年より国立は2人、公立は2人増加している。 [表22・統計表61]
- ウ 男女別では、男子58人、女子68人で、前年より女子は4人増加している。 [表22]
- エ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校(高等課程)進学者70人(男子32人、女子38人)、専修学校(一般課程)入学者24人(男子11人、女子13人)、各種学校入学者19人(男子4人、女子15人)、公共職業能力開発施設等入学者13人(男子11人、女子2人)である。 [表22・統計表61]
- オ 特別支援学級の専修学校等入学者は、35人(男子23人、女子12人)である。 [統計表64]

(4) 就職者数

- ア 就職者数は90人で、前年より9人減少している。 [表 22]
なお、就職者数の内訳は、就職者86人、進学者のうち就職している者4人(男子4人)である。 [表 22・統計表 61]
- イ 男女別では、男子72人、女子18人で、前年より男子は9人減少している。 [表 22]
- ウ 就職者総数のうち、広島県内就職者数は78人(男子61人、女子17人)、広島県外就職者数は12人(男子11人、女子1人)である。 [統計表 65]
- エ 就職者数の産業別内訳は、第1次産業は7人(男子7人)、第2次産業は44人(男子37人、女子7人)、第3次産業は35人(男子26人、女子9人)、左記以外・不詳のものは4人(男子2人、女子2人)である。 [統計表 65]
- オ 卒業者に占める就職者の割合は0.3%で、前年より0.1ポイント低下している。 [表 22]
男女別では、男子0.5%、女子0.1%で、前年より男子は0.1ポイント低下し、女子は前年とほぼ同数である。 [表 22]
- カ 特別支援学級の就職者は、2人(男子2人)である。 [統計表 64]

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は175人で、前年より19人増加している。 [表 22]
- イ 設置者別では、国立1人(男子1人)、公立166人(男子84人、女子82人)、私立8人(男子2人、女子6人)で、国立は1人、公立は21人増加し、私立は3人減少している。
- ウ 男女別では、男子87人、女子88人で、男子は2人減少し、女子は21人増加している。
- エ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者173人(男子87人、女子86人)、不詳・死亡の者2人(女子2人)である。 [統計表 61]
- オ 特別支援学級の左記以外・死亡・不詳の者の数は、18人(男子9人、女子9人)である。 [統計表 64]

2 高等学校

[表23] 状況別卒業生数・進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C		D		E		A・Bのうち就職している者		進学率		就職率	
	卒業生	対前年増減数	進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者	対前年増減数	一時的な仕事に就いた者	対前年増減数	左記以外、不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	進学率	対前年増減数	就職率	対前年増減数
	人																	
H25	24,905	275	14,670	270	5,703	21	3,371	13	237	43	924	14	63	18	58.9	0.4	13.8	0.2
H26	24,289	616	14,157	513	5,570	133	3,406	35	207	30	949	25	65	2	58.3	0.6	14.3	0.5
H27	24,598	309	14,428	271	5,604	34	3,603	197	192	15	771	178	41	24	58.7	0.4	14.8	0.5
H28	24,260	338	14,201	227	5,380	224	3,687	84	192	-	800	29	51	10	58.5	0.1	15.4	0.6
H29	24,510	250	14,567	366	5,315	65	3,602	85	144	48	882	82	27	24	59.4	0.9	14.8	0.6
国立	407	20	264	2	142	17	1	1	-	-	-	-	-	0	64.9	2.8	0.2	0.2
公立	16,040	113	9,236	14	3,412	21	2,828	152	124	22	440	68	20	22	57.6	0.5	17.8	1.0
私立	8,063	343	5,067	350	1,761	61	773	66	20	26	442	14	7	2	62.8	1.7	9.7	0.4
全日	23,433	332	14,417	371	5,085	54	3,327	54	105	32	499	101	25	20	61.5	0.7	14.3	0.5
定時	347	20	25	2	63	2	173	13	39	16	47	5	2	2	7.2	0.9	50.4	1.3
通信	730	62	125	7	167	13	102	18	336	24	-	2	17.1	0.5	14.0	1.4
男	12,358	238	7,038	239	2,520	51	2,317	30	43	17	440	37	3	7	57.0	0.9	18.8	0.2
女	12,152	12	7,529	127	2,795	14	1,285	115	101	31	442	45	24	17	62.0	1.0	10.8	1.1

注1) 進学者とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科) 特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2) 専修学校等入学者とは、専修学校(専門課程)・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3) 就職者には、就職しながら進学及び入学をした者を含む。注4) 通信制では、一時的な仕事に就いた者を調査していない。

注5) 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等をいう。

(1) 卒業生数

ア 卒業生数は24,510人で、前年より250人増加している。 [表23]

イ 設置者別では、国立407人(男子223人、女子184人)、公立16,040人(男子7,703人、女子8,337人)、私立8,063人(男子4,432人、女子3,631人)で、前年より国立は20人増加し、公立は113人減少し、私立は343人増加している。 [表23・統計表66]

ウ 課程別では、全日課程23,433人(男子11,759人、女子11,674人)、定時課程347人(男子213人、女子134人)、通信課程730人(男子386人、女子344人)である。 [表23・統計表66]

エ 男女別では、男子12,358人、女子12,152人で、前年より男子は238人、女子は12人増加している。 [表23]

(2) 進学者数

ア 進学者数は14,567人で、前年より366人増加している。 [表23]

イ 設置者別では、国立264人(男子134人、女子130人)、公立9,236人(男子4,268人、女子4,968人)、私立5,067人(男子2,636人、女子2,431人)で、前年より国立は2人、公立は14人、私立は350人増加している。 [表23・統計表66]

ウ 男女別では、男子7,038人、女子7,529人で、前年より男子は239人、女子は127人増加している。 [表23]

エ 進学者数の内訳は、大学(学部)13,521人(男子6,953人、女子6,568人)、短期大学(本科)999人(男子83人、女子916人)、大学・短期大学の通信教育部3人(女子3人)、大学・短期大学の別科4人(男子2人、女子2人)、高等学校専攻科40人(女子40人)である。 [統計表68]

オ 大学等進学率は59.4%で、前年より0.9ポイント上昇している。 [表23]

男女別では、男子57.0%、女子62.0%で、前年より男子は0.9ポイント、女子は1.0ポイント上昇している。 [表23]

カ 大学(学部)・短期大学(本科)へ入学を志願した者は16,103人で、前年より406人増加し、本年3月卒業生に占める割合は65.7%である。 [統計表68]

男女別では、男子8,103人、女子8,000人で、本年3月卒業生のうち男子の65.6%、女子の65.8%が入学志願している。 [統計表68]

キ 過年度卒業生の入学志願者数は1,395人で、前年より294人減少している。そのうち、前年3月の卒業生は1,063人で、前年より318人減少している。

男女別では、男子1,027人、女子368人である。

過年度卒業生の志願先の内訳は、大学1,353人(男子1,022人、女子331人)、短期大学42人(男子5人、女子37人)である。そのうち、前年3月卒業生は、大学1,162人(男子873人、女子289人)、短期大学38人(男子4人、女子34人)である。

(3) 専修学校等入学者

- ア 専修学校等入学者は5,315人で、前年より65人減少している。 [表23]
- イ 設置者別では、国立142人(男子89人,女子53人),公立3,412人(男子1,428人,女子1,984人),私立1,761人(男子1,003人,女子758人)で、前年より国立は17人増加し、公立は21人,私立は61人減少している。 [表23・統計表66]
- ウ 男女別では、男子2,520人,女子2,795人で、前年より男子は51人,女子は14人減少している。 [表23]
- エ 専修学校等入学者数の内訳は、専修学校(専門課程)進学者2,914人(男子1,105人,女子1,809人),専修学校(一般課程)入学者872人(男子368人,女子504人),各種学校入学者1,364人(男子894人,女子470人),公共職業能力開発施設等入学者165人(男子153人,女子12人)である。 [統計表67]

(4) 就職者数

- ア 就職者数は3,629人で、前年より109人減少している。 [表23]
- 就職者数の内訳は、就職者3,602人,進学又は入学した者のうち就職している者27人(男子3人,女子24人)である。 [統計表66]
- また、就職者数のうち正規の職員等は3,515人(男子2,251人,女子1,264人),正規の職員等でない者は12人(男子4人,女子8人)である。(通信制を含まない。) [統計表66]
- イ 設置者別では、国立1人(女子1人),公立2,848人(男子1,775人,女子1,073人),私立780人(男子545人,女子235人)で、前年より国立は1人増加し、公立は174人減少している。 [表23・統計表66]
- ウ 男女別では、男子2,320人,女子1,309人で、前年より男子は23人増加し、女子は132人減少している。 [表23]
- エ 産業別内訳は、第1次産業は22人(男子15人,女子7人),第2次産業は1,759人(男子1,389人,女子370人),第3次産業は1,825人(男子899人,女子926人),左記以外のものは23人(男子17人,女子6人)である。 [統計表70]
- オ 産業分類別では、「製造業」1,484人,「卸売業,小売業」411人,「公務(他に分類されるものを除く)」301人の順に多い。 [統計表70]
- また、男子及び女子ともに「製造業」が最も多く、男子就職者総数の48.7%,女子就職者総数の27.1%を占めている。 [統計表70]
- カ 職業分類別では、「生産工程従事者」1,474人,「サービス職業従事者」495人,「事務従事者」345人の順に多い。 [統計表71]
- また、男子では「生産工程従事者」が1,199人と最も多く、男子就職者総数の51.7%を占めており、女子では、「サービス職業従事者」が357人と最も多く、女子就職者総数の27.3%を占めている。 [統計表71]
- キ 卒業者に占める就職者の割合は14.8%で、前年より0.6ポイント低下している。 [表23]
- 男女別では、男子18.8%,女子10.8%で、前年より男子は0.2ポイント,女子は1.1ポイント低下している。 [表23]
- 広島県外への就職者数は347人(男子263人,女子84人)で、就職者数の9.8%を占めている。(通信制を含まない。) [統計表72]
- 内訳は、関東地方118人(男子85人,女子33人),近畿地方88人(男子64人,女子24人),中国・四国地方78人(男子61人,女子17人),中部地方40人(男子33人,女子7人),九州地方14人(男子12人,女子2人),北海道・東北地方2人(男子1人,女子1人)である。 [統計表72]
- (5) 左記以外,不詳・死亡の者の数
- ア 左記以外,不詳・死亡の者の数は882人で、前年より82人増加している。 [表23]
- イ 設置者別では、公立440人(男子196人,女子224人),私立442人(男子244人,女子198人)で、公立は68人,私立は14人増加している。 [表23・統計表66]
- ウ 男女別では、男子440人,女子442人で、男子は37人,女子は45人増加している。 [表23]
- エ 左記以外,不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者880人(男子438人,女子442人),不詳・死亡の者2人(男子2人)である。 [統計表66]

3 中等教育学校（前期課程）

[表24]状況別修了者数・進学率・就職率の推移〔前期課程〕

年度	修了者数		進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		進学率		就職率	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	対前年増減数	増減数	
	人													
H29	118	118	118	118	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	118	118	118	118	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	66	66	66	66	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
女	52	52	52	52	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-

注1) 進学者とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2) 専修学校等入学者とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3) 就職者には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4) 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等をいう。

(1) 前期課程修了者数

ア 前期課程修了者数は118人である。

[表 24]

イ 男女別では、男子66人、女子52人である。

[表 24]

(2) 進学者数

ア 進学者数は118人である。

[表 25]

イ 男女別では、男子66人、女子52人である。

[表 25]

ウ 進学者数の内訳は、高等学校の全日制2人(男子1人、女子1人)、通信制1人(女子1人)、中等教育学校115人(男子65人、女子50人)である。

[表 25]

エ 進学率は100.0%である。

[表 24]

[表25]進学者の内訳の推移〔前期課程〕

年度	進学者数		高等学校						中等教育学校		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H29	118	118	2	2	-	-	1	1	115	115	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	118	118	2	2	-	-	1	1	115	115	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	66	-	1	1	-	-	-	-	65	65	-	-	-	-
女	52	-	1	1	-	-	1	1	50	50	-	-	-	-

4 特別支援学校

(1) 中学部

[表26] 状況別卒業生数・進学率・就職率の推移 (中学部)

年度	卒業生数		進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		進学率		就職率	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	対前年増減数	増減数	
	人													
H25	168	18	166	20	-	-	-	-	2	2	98.8	1.5	-	-
H26	156	12	156	10	-	-	-	-	-	2	100.0	1.2	-	-
H27	188	32	186	30	-	-	-	-	2	2	98.9	1.1	-	-
H28	156	32	154	32	-	-	-	-	2	-	98.7	0.2	-	-
H29	208	52	206	52	-	-	-	-	2	-	99.0	0.3	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	208	52	206	52	-	-	-	-	2	-	99.0	0.3	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	129	23	127	22	-	-	-	-	2	1	98.4	0.6	-	-
女	79	29	79	30	-	-	-	-	-	1	100.0	2.0	-	-

注1) 進学者とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2) 専修学校等入学者とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3) 就職者には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4) 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等をいう。

(1) 卒業生数

ア 卒業生数は208人で、前年より52人増加している。 [表26]

イ 男女別では、男子129人、女子79人で、前年より男子は23人、女子は29人増加している。 [表26]

(2) 進学者数

ア 進学者数は206人で、前年より52人増加している。 [表26]

イ 男女別では、男子127人、女子79人で、前年より男子は22人、女子は30人増加している。 [表26]

ウ 進学者数の内訳は、高等学校の定時制課程1人(男子1人)、通信制課程1人(女子1人)、特別支援学校高等部204人(男子126人、女子78人)である。 [表27]

エ 進学率は99.0%で、前年より0.3ポイント上昇している。 [表26]

男女別では、男子98.4%、女子100.0%で、前年より男子は0.6ポイント低下し、女子は2.0ポイント上昇している。 [表26]

(3) 左記以外、不詳・死亡の者の数

ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は2人で、前年と同数である。 [表26]

イ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者2人(男子2人)である。 [統計表73]

[表27] 進学者の内訳の推移 (中学部)

年度	進学者数		高等学校				中等教育学校		高等専門学校		特別支援学校			
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H25	166	20	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	165	21
H26	156	10	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	154	11
H27	186	30	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	184	30
H28	154	32	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	154	30
H29	206	52	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	204	50
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	206	52	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	204	50
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	127	22	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	126	21
女	79	30	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	78	29

〔2〕高等部

[表28]状況別卒業生数・進学率・就職率の推移〔高等部〕

年度	卒業生数		進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		進学率		就職率	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人													
H25	388	50	5	2	8	2	101	20	274	28	1.3	0.8	26.0	2.1
H26	327	61	8	3	7	1	108	7	204	70	2.4	1.2	33.0	7.0
H27	399	72	3	5	3	4	112	4	281	77	0.8	1.7	28.1	5.0
H28	429	30	5	2	5	2	134	22	285	4	1.2	0.4	31.2	3.2
H29	398	31	3	2	3	2	115	19	277	8	0.8	0.4	28.9	2.3
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	398	31	3	2	3	2	115	19	277	8	0.8	0.4	28.9	2.3
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	260	35	1	2	2	1	83	6	174	26	0.4	0.6	31.9	1.8
女	138	4	2	-	1	1	32	13	103	18	1.4	0.0	23.2	10.4

注1) 進学者とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2) 専修学校等入学者とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3) 就職者には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4) 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学に入学した者、進路が未定であることが明らかな者等をいう。

(1) 卒業生数

ア 卒業生数は398人で、前年より31人減少している。 [表28]

イ 男女別では、男子260人、女子138人で、前年より男子は35人減少し、女子は4人増加している。 [表28]

(2) 進学者数

ア 進学者数は3で、前年より2人減少している。 [表28]

イ 男女別では、男子1人、女子2人で、前年より男子は2人減少し、女子は同数である。 [表28]

ウ 進学者数の内訳は、大学(学部)2人(男子1人、女子1人)、特別支援学校高等部専攻科1人(女子1人)である。 [表29]

エ 進学率は0.8%で、前年より0.4ポイント低下している。 [表28]

男女別では、男子0.4%、女子1.4%で、前年より男子は0.6ポイント上昇し、女子はほぼ同数している。 [表28]

[表29]進学者の内訳の推移〔高等部〕

年度	進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学				高等学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	学部	対前年増減数	本科	対前年増減数	通信教育部	対前年増減数	別科	対前年増減数	専攻科	対前年増減数	高等部専攻科	対前年増減数
	人													
H25	5	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
H26	8	3	7	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	3	5	1	6	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
H28	5	2	3	2	-	1	-	-	-	-	-	1	2	2
H29	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
女	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

(3) 専修学校等入学者

ア 専修学校等入学者は3人で、前年より2人減少している。 [表28]

イ 男女別では、男子2人、女子1人で、前年より男子は1人、女子は1人減少している。 [表28]

ウ 専修学校等入学者の内訳は、公共職業能力開発施設等入学者3人(男子2人、女子1人)である。 [統計表74]

(4) 就職者数

- ア 就職者数は115人で、前年より19人減少している。 [表28]
- イ 男女別では、男子83人、女子32人で、前年より男子は6人減少し、女子は13人減少している。 [表28]
- ウ 産業別内訳では、第1次産業2人(男子2人)、第2次産業37人(男子23人、女子14人)、第3次産業76人(男子58人、女子18人)である。 [統計表75]
- エ 産業分類別では「製造業」36人(男子23人、女子13人)、「卸売業、小売業」19人(男子13人、女子6人)、「医療、福祉」17人(男子12人、女子5人)の順に多い。
また、男女ともに「製造業」が最も多く、男子では、就職者総数の27.7%を占めており、女子では、就職者総数の40.6%を占めている。 [統計表75]
- オ 職業分類別では、「生産工程従事者」33人(男子22人、女子11人)、「運搬・清掃等従事者」32人(男子28人、女子4人)、「サービス職業従事者」19人(男子11人、女子8人)の順に多い。 [統計表76]
また、男子では、「運搬・清掃等従事者」が28人と最も多く、男子就職者総数の33.7%を占めており、女子では、「生産工程従事者」が11人と最も多く、女子就職者総数の34.4%を占めている。 [統計表76]
- カ 卒業者に占める就職者の割合は28.9%で、前年より2.3ポイント減少している。 [表28]
男女別では、男子31.9%、女子23.2%で、前年より男子は1.8ポイント上昇し、女子は10.4ポイント低下している。 [表28]

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は277人(すべて左記以外の者)で、前年より8人減少している。 [表28]
- イ 男女別では、男子174人、女子103人で、前年より男子は25人減少し、女子は18人増加している。
- ウ 左記以外の者の内訳は、児童福祉施設8人(男子6人、女子2人)、障害者支援施設等254人(男子159人、女子95人)、医療機関4人(男子2人、女子2人)などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は129人(男子88人、女子41人)である。

不就学学齡児童生徒調査

1 不就学学齡児童生徒数

[表30]就学免除・猶予者数・1年以上居所不明者数・学齡児童生徒死亡者数(前年度間)の推移

年度	就学免除者		就学猶予者		1年以上居所不明者		学齡児童生徒死亡者数			
	総数	対前年増減数	総数	対前年増減数	総数	対前年増減数	総数(前年度間)	対前年増減数		
	人									
H25	27	4	25	2	2	2	7	4	17	2
H26	24	3	23	2	1	1	7	-	7	10
H27	19	5	19	4	-	1	-	7	13	6
H28	15	4	15	4	-	-	-	-	9	4
H29	13	2	13	2	-	-	1	1	10	1
6~11歳	4	1	4	1	-	-	-	-	8	5
12~14歳	9	1	9	1	-	-	1	1	2	4
男	7	2	7	2	-	-	1	1	8	3
女	6	4	6	4	-	-	-	-	2	2

(1) 就学免除者数

ア 就学免除者数は13人で、前年度よりも2人減少している。 [表 30]

イ 年齢別では、学齡児童が4人、学齡生徒が9人で、前年度より学齡児童は1人、学齡生徒は1人減少している。 [表 30]

ウ 男女別では、男子7人、女子6人で、前年度より男子は2人増加し、女子は4人減少している。 [表 30]

(2) 就学猶予者数

ア 就学猶予者は0人で、前年度と同数である。 [表 30]

(3) 1年以上居所不明者数

ア 1年以上居所不明者数は1人で、前年度より1人増加している。 [表 30]

イ 年齢別では、学齡生徒が1人である。 [表 30]

ウ 男女別では、男子1人である。 [表 30]

(4) 学齡児童生徒死亡者数(前年度間)

ア 学齡児童生徒死亡者数は10人で、前年より1人増加している。 [表 30]

イ 年齢別では、学齡児童8人、学齡生徒2人で、前年より学齡児童は5人増加し、学齡生徒は4人減少している。 [表 30]

ウ 男女別では、男子8人、女子2人で、男子は3人増加し、女子は2人減少している。 [表 30]

〔参考〕(文部科学省「学校基本調査報告書」より)

1 広島県の大学、短期大学、高等専門学校の状況

[表31]広島県内所在の大学、短期大学、高等専門学校の学校数・学生数・教員数

年度	大学				短期大学				高等専門学校			
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		国立	公立	私立	
学校数(校)	20	1	4	15	6	-	-	6	2	2	-	-
学生数(人)	61,206	15,788	7,336	38,082	1,819	-	-	1,819	1,648	1,648	-	-
男	33,569	9,993	3,174	20,398	183	-	-	183	1,351	1,351	-	-
女	27,637	5,795	4,158	17,684	1,636	-	-	1,636	297	297	-	-
教員数(人)	4,015	1,678	559	1,778	104	-	-	104	124	124	-	-
男	2,974	1,410	410	1,154	53	-	-	53	114	114	-	-
女	1,041	268	149	624	51	-	-	51	10	10	-	-

注)学生数には、大学については学部学生のほか大学院学生、専攻科・別科の学生及び聴講生・研究生等を含め、短期大学については本科学生のほか専攻科・別科の学生及び聴講生等を含めている。

(1) 大学

- ア 学校数は20校である。 [表 31]
設置者別では、国立1校、公立4校、私立15校である。 [表 31]
- イ 学生数は61,206人である。 [表 31]
男女別では、男子33,569人、女子27,637人で、女子学生が全体の45.2%(全国43.4%)を占めている。 [表 31]
- ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は7,821人で、県内大学選択率は52.2%である。 [付表 3]
男女別では、男子3,843人、女子3,978人で、県内大学選択率は男子48.0%、女子56.9%である。 [付表 3]
- エ 教員数(本務者)は4,015人である。 [表 31]
男女別では、男性2,974人、女性1,041人で、女性教員が全体の25.9%(全国23.7%)を占めている。 [表 31]

(2) 短期大学

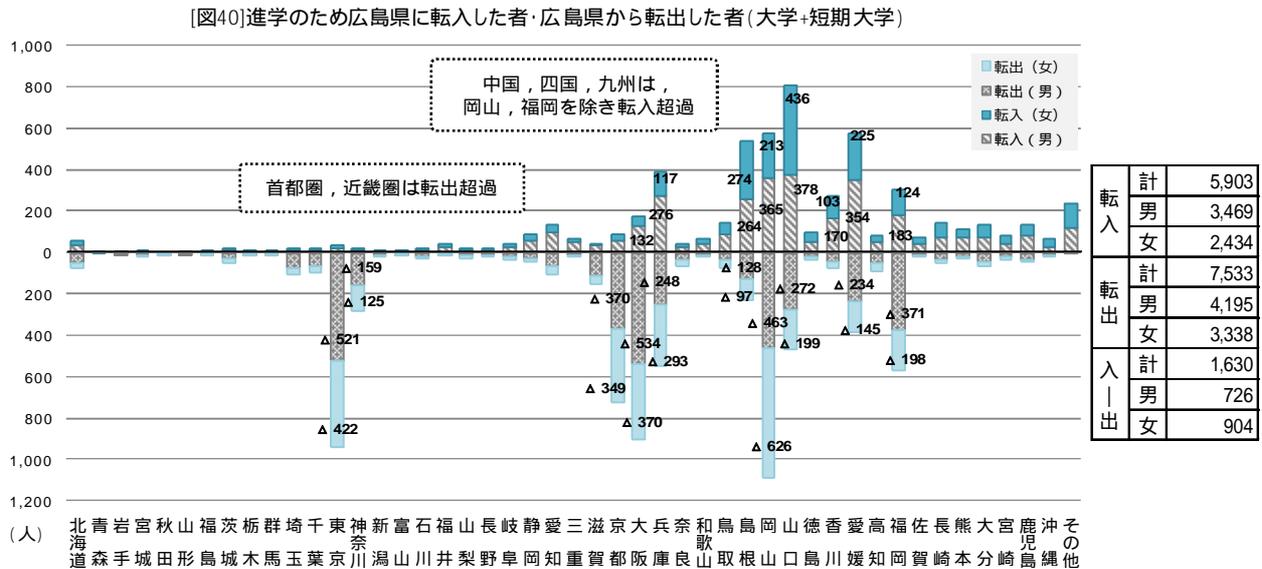
- ア 学校数は6校で、すべて私立である。 [表 31]
- イ 学生数は1,819人である。 [表 31]
男女別では、男子183人、女子1,636人で、女子学生が全体の89.9%(全国88.7%)を占めている。 [表 31]
- ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は681人で、県内大学選択率は65.5%である。 [付表 3]
男女別では、男子55人、女子626人で、県内大学選択率は男子61.8%、女子65.8%である。 [付表 3]
- エ 教員数(本務者)は104人である。 [表 31]
男女別では、男性53人、女性51人で、女性教員が全体の49.0%(全国52.2%)を占めている。 [表 31]

(3) 高等専門学校

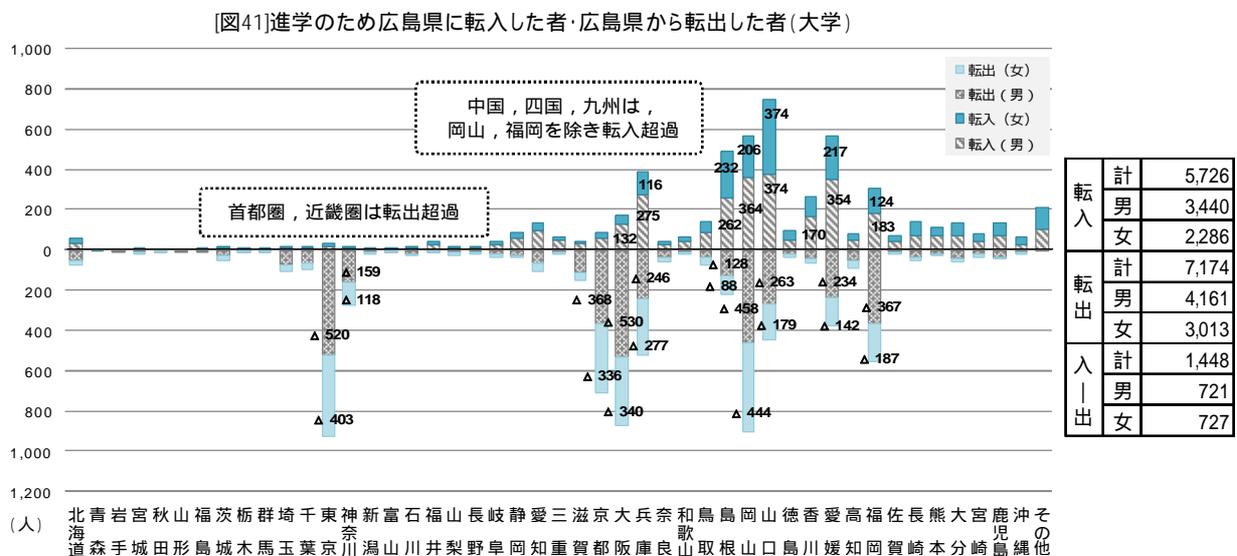
- ア 学校数は2校で、すべて国立である。 [表 31]
- イ 学生数は1,648人である。 [表 31]
男女別では、男子1,351人、女子297人で、女子学生が全体の18.0%(全国18.0%)を占めている。 [表 31]
- ウ 教員数(本務者)は124人である。 [表 31]
男女別では、男性114人、女性10人で、女性教員が全体の8.1%(全国10.1%)を占めている。 [表 31]

2 大学，短期大学の転出入状況

(1) 大学 + 短期大学



(2) 大学



(3) 短期大学

